

CIAS Discussion Paper No.12

ポスト社会主義諸国 政党・選挙ハンドブックⅡ

ポスト社会主義諸国の政党・選挙データベース作成研究会 編



京都大学地域研究統合情報センター

CIAS Discussion Paper No.12

A Handbook of Political Party and Election in the Post-socialist Countries II

© Center for Integrated Area Studies, Kyoto University
46 Shimoadachi-cho, Yoshida Sakyo-ku, Kyoto-shi,
Kyoto, 606-8501, Japan

TEL: +81-75-753-9603

FAX: +81-75-753-9602

E-mail: ciasjimu@cias.kyoto-u.ac.jp

<http://www.cias.kyoto-u.ac.jp>

November, 2009

目次

はしがき	4
------------	---

チェコ政党・選挙データ	林 忠行	5
1. 選挙制度		6
2. 主要政党の概要		7
3. 1990年2月以降の歴代内閣		11
4. 資料		13

リトアニア政党・選挙データ	中井 遼	23
1. 政治制度と選挙制度		24
2. 主要政党の概要		25
3. 歴代大統領		32
4. 1992年選挙後の歴代内閣		32
5. 資料		34

ラトヴィア政党・選挙データ	小森 宏美	43
1. 政治制度と選挙制度		44
2. 主要政党の概要		45
3. 1993年選挙後の歴代内閣		48
4. 資料		49

はしがき

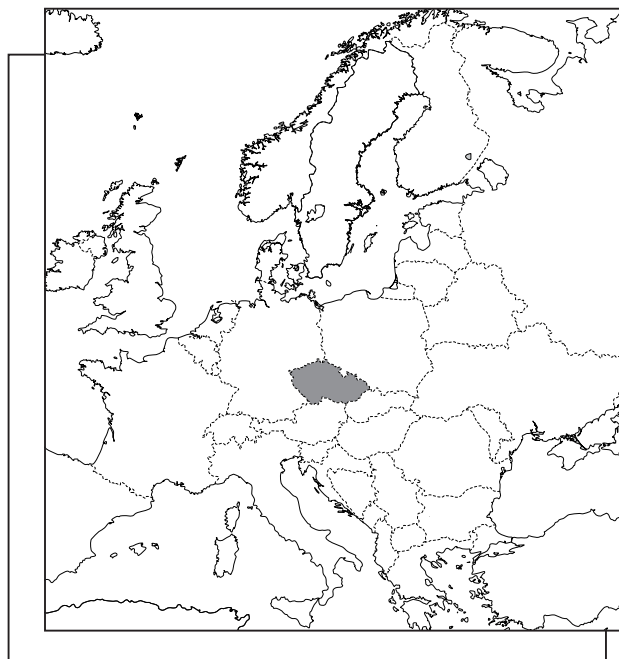
本『ポスト社会主義諸国 政党・選挙ハンドブックⅡ』は、京都大学地域研究統合情報センター(以下、地域研)の共同研究会「ポスト社会主義諸国の選挙・政党データベース」(研究期間：2007～2008年度。以下、選挙・政党DB研究会)での議論およびデータ収集の副産物である選挙・政党データの一部を、研究会の外に開かれた利用に供するために資料集として提供するものです。ポーランド、スロヴァキア、エストニアのデータが掲載された『政党・選挙ハンドブックⅠ』(2009年3月刊)の続編にあたります。

選挙・政党DB研究会は、選挙関連データの収集に特化した研究会でしたが、科学研究費補助金「EU加盟後の中東欧諸国の政策変容の比較分析」(2006～2008年度、研究代表者：仙石学・西南学院大学教授)、ならびに「旧ソ連・東欧地域における体制転換の総合的比較研究」(2005～2008年度、研究代表者：林忠行・北海道大学教授)との密接な研究協力により、収集されたデータの利用方法や分析方法について議論を深めてきました。したがって、本冊子も『ハンドブックⅠ』同様、上記2科学研究費補助金によるプロジェクトの成果でもあります。

こうした複数の研究プロジェクトを架橋する形で実施してきた選挙・政党データの収集および分析の継続を目的として、2009年度は、「ポスト社会主義国における選挙データの体系的整理」(代表：仙石学。北海道大学スラブ研究センター平成21年度「スラブ・ユーラシア地域(旧ソ連・東欧)を中心とした総合的研究」に関わる共同研究の公募事業)において研究を実施しています。

なお、選挙・政党DB研究会で収集した旧ユーゴスラヴィアも含め17か国を対象とする全データについては、<http://www.seinan-gu.ac.jp/~sengoku/database/>で閲覧できます。また、検索可能なデータベースを地域研のホームページで公開しています。これらもご利用ください。

編 者



チェコ政党・選挙データ

1. 選挙制度

- 1-1 議会選挙
- 2-2 大統領選挙

2. 主要政党の概要

- 2-1 ČSSD
- 2-2 HSD-SMS
- 2-3 KSČM、KSČ、Levý blok
- 2-4 KDU-ČSL、KDU
- 2-5 LSU
- 2-6 ODA
- 2-7 ODS、ODS-KDS
- 2-8 OF
- 2-9 SPR-RSČ
- 2-10 SNK-ED
- 2-11 SZ
- 2-12 US、US-DEU

3. 1990年2月以降の歴代内閣

4. 資料

1 選挙制度

1-1 議会選挙

議会制度のあらまし

1992年までのチェコスロヴァキアの連邦議会は人口比によって議席が割り振られる人民院とチェコ及びスロヴァキアの両共和国に同数の議席を割り振る国民院の二院制であった。両院ともに150議席。人民院でのチェコ共和国の議席は、1990年選挙で101議席、1992年選挙で99議席。国民院では両共和国ともに75議席が割り振られていた。両院は対等で、重要法案については人民院での過半数と、国民院の両共和国部分それぞれでの過半数の可決が必要であり、憲法改正、憲法律(憲法と同等の効力を持つ法律)の制定、大統領の選出では人民院全体と国民院の両共和国部分のそれぞれで5分の3の賛成が必要であった。また、チェコ共和国の議会としてチェコ国民評議会(Česká národní rada 200議席)がおかれていた。

1993年の独立後に二院制のチェコ共和国議会(Parlament České republiky)が設置され、当座は連邦時代のチェコ国民評議会議員が下院(Poslanecká sněmovna)を構成した。上院(Senát)はしばらく空席のままであったが、1996年に最初の上下両院選挙が実施された。

連邦時代の議会と独立後の下院議員選挙に関しては、いずれも選挙権が18歳以上、被選挙権は21歳以上であるが、上院議員選挙では選挙権が18歳以上、被選挙権が40歳以上となっている。

連邦時代の1990年と1992年の議会選挙と1996年の下院議員選挙は8選挙区での比例代表選挙で、各リスト内の候補者に順位が付されている拘束名簿式比例代表選挙であった。ただし、投票者はリスト内の候補者4名までを選んで印をつけることができ、これが一定数を上回るとその候補者はリストの上位に繰り上がる優先投票制度が用いられている。議席配分方式は、1990年と1992年選挙ではドループ式、1996年選挙はハーゲンバッハ-ビショッフ式によった。2002年以降の選挙では、新たに設置された14県(kraj)を選挙区とする比例代表選挙となり、議席配分もドント式に変わった。また、1990年選挙から一貫して共和国での集計で5%以上の得票があった政党のみが議席を得られる阻止条項が設けられ、1996年選挙からは複数の政党による連立リストについては、2政党が7%、3政党が9%、4政党以上が11%以上の得票を必要とするという規程が採用され、さらに2002年選挙からはそれぞれが10%、15%、20%に引き上げられた。

上院議員選挙は81選挙区での二回投票制の多数代表(小選挙区)選挙で、2年ごとに全選挙区の3分の1(27選挙区)で改選が行われる。1回目の投票で有効投票の過半数を超えた候補者がいない場合は、上位2名の候補者による2回目の投票が1週間後に行われる。

1-2 大統領選挙

1993年憲法では、大統領は被選挙権が40歳以上とされ、議会による間接選挙で選出される。1回目の投票では下院と上院のそれぞれで総議席の過半数を獲得した候補者が大統領に選出されることになっている。1回目の投票で当選者がいない場合は、下院と上院のそれぞれで最大得票をした候補者によって2回目の投票が行われる。2回目の投票では両院それぞれで出席議員の過半数の票を得た候補者が当選者とされ、そこでも当選者が出ない場合は、同じ

候補者で3回目の投票が行われる。3回目の投票でも当選者が出ない場合は、再選挙となる。

2 主要政党の概要

2-1 **ČSSD (Česká strana sociálně demokratická):** **チェコ社会民主党**

西欧的な社会民主主義を志向する中道左派政党。この政党の前身は、1878年にオーストリア社会民主党傘下で結成されたチェコスラブ社会民主党 (Československá sociálně demokratická strana) まで遡る。1918年末にチェコスロヴァキア共和国が独立すると、同党はスロヴァキアの社会民主主義政党などとともに、チェコスロヴァキア社会民主労働者党 (Československá sociálně demokratická strana dělnická) を結成。両大戦間期においてチェコとスロヴァキアの両方で得票可能な有力政党の地位を保った。1945年にチェコスロヴァキア社会民主 (Československá sociální demokracie: ČSSD) と改称し、戦後の連立政権に参加。1948年に政権を掌握した共産党によって吸収合併されたが、一部の活動家は国外で亡命組織を維持した。1989年末に体制変動が始まると、社会民主党の活動は再開され、正式には1990年3月の党大会で同党は再結成された。1990年6月の選挙では議席を得ることができなかった。しかし、この選挙で最大与党となる市民フォーラム内には有力な社会民主主義者たちが含まれており、この人びとが1992年選挙では社会民主党に合流し、同党は議席を得た。1993年のチェコ共和国の独立後、党名をチェコ社会民主党 (Česká strana sociálně demokratická: ČSSD) と改称した。1996年選挙で野党第一党。1998年選挙で第一党となり、選挙後に市民民主党との合意(「野党協定」と呼ばれる)の基で単独少数内閣を組織。2002年選挙でも第一党の地位を維持し、選挙後はKDU-ČSL、US-DEUとの連立で政権を維持した。2006年選挙では第二党にとどまり、野に下った。欧州社会党 (Party of European Socialists: PES) に加盟している。

2-2 **HSD-SMS (Hnutí za samosprávnou demokracii-Společnost pro Moravu a Slezsko):** 自治民主運動=モラヴィア・シレジア協会

モラヴィア・シレジアの地域主義を代表する政治運動で、1990年4月に結成された。1990年選挙では、連邦議会両院とチェコ国民評議会で議席を得たが、1992年選挙ではチェコ国民評議会のみで議席を維持した。1993年にチェコ共和国は独立するが、国家形態は単一国家となり、同運動の求める地域自治の主張は無視された。1994年にボヘミア・モラヴィア中道党 (Českomoravská strana středu: ČMSS) と改称。1996年にはボヘミア・モラヴィア中道連合 (Českomoravská unie středu) に参加するが、議席を得られず、モラヴィア・シレジア地域主義運動は議会から姿を消した。

2-3 **KSČM (Komunistická strana Čech a Moravy):** ボヘミア・モラヴィア共産党 **KSČ (Komunistická strana Československa):** チェコスロヴァキア共産党 **Levý blok:** 左翼ブロック

1921年に当時の社会民主党の「マルクス主義左派」が分離して設立したチェコスロヴァキ

ア共産党 (Komunistická strana Československa: KSČ) は、両大戦間期の東欧では例外的に合法政党として議会に議席を保持していた。1938年のミュンヘン会議以降、その活動は非合法化され、指導部の多くはモスクワに亡命した。1939年3月にチェコスロヴァキア国家が解体すると、スロヴァキアの党組織はスロヴァキア共産党 (Komunistická strana Slovenska: KSS) として自立した。1945年の解放後、共産党は連立政権に参加し、1946年の選挙で第一党の地位を得て、その後の政治の主導権を握ることになる。1948年2月に事実上の単一支配を確立し、ČSSDを吸収した。1968年に「プラハの春」として知られる改革運動が党内改革派によって主導されたが、同年8月のワルシャワ条約機構の軍事干渉によって挫折。その後は保守派による「正常化体制」が続いた。1989年11月に民主化要求デモの高まりの中で、同党は「指導的役割」を放棄し、それまでの在野勢力に政権を渡した。1990年選挙で同党は連邦議会両院およびチェコ国民評議会において第二党(野党第一党)となり、その後の議会政治に生き残る地歩を固めた。戦後、KSSはチェコスロヴァキア共産党の下部組織の地位にあったが、チェコのそれに相当する組織はなかった。1990選挙後、チェコでボヘミア・モラヴィア共産党 (Komunistická strana Čech a Moravy: KSČM) が設立され、KSS (後にスロヴァキア共産党=民主左翼党 Komunistická strana Slovenska-Strana demokratická ľavica: KSS-SDE となる) と連邦型の組織を作ったが、1991年12月にスロヴァキアの組織は、民主左翼党 (Strana demokratická ľavica: SDE) という名称で独立し、連邦組織は解消された。1992年選挙では他の左派諸党と連立リスト左翼ブロック (Levý blok) を作って議席を得た。1996年選挙以降、ボヘミア・モラヴィア共産党は継続して議会での議席を維持している。

2-4

KDU-ČSL (Křesťanská a demokratická unie-Československá strana lidová):
キリスト教民主連合=チェコスロヴァキア人民党

KDU (Křesťanská a demokratická unie): キリスト教民主連合

チェコスロヴァキア人民党 (Československá strana lidová: ČSL) は1919年の設立で、ハプスブルク帝国期からのボヘミアとモラヴィアのキリスト教社会主義、カトリック系のナショナリズム諸派などの流れをくむ。両大戦間期にはチェコの主要政党のひとつとして連立政治に加わっていた。第二次世界大戦期には国内外で反ファシズム闘争に参加し、戦後の連立政権にも加わった。1948年の共産党による権力掌握以後も国民戦線政党として存続したが、事実上は共産党の衛星政党の地位にとどまった。1989年の政治変動が始まると自立した政党として活動を始め、1990年選挙ではキリスト教民主党 (Křesťansko-demokratická strana: KDS) など他のキリスト教系の諸党とキリスト教民主連合 (Křesťanská a demokratická unie: KDU) という名称で連立リストを作成し、議席を得て、選挙後はOFを中心とする連立政権に参加した。1992年選挙では、KDSがODSと連立リストを作成することになったことにもない、ČSLは現在のキリスト教民主連合=チェコスロヴァキア人民党 (Křesťanská a demokratická unie-Československá strana lidová: KDU-ČSL) という名称になり、同年以後の選挙でも議席を維持している。KDU-ČSLは1992年選挙、および1996年選挙で議席を確保し、ODS、ODAなどと連立政権を作った。1998年選挙後に下野し、ODA、US、民主連合 (Demokraticá unie: DEU) と四党連立 (Čtyřkoalice) を作り、上院選挙や地方選挙に臨んだ。2002年選挙ではUS-DEUと連立リスト (Koalice KDU-ČSL, US-DEU) を作って選挙に臨み、選挙後はČSSD、US-DEUとの連立政権に参加。2006年選挙では再度KDU-ČSL単独で選挙を戦い、選挙後にODS、SZと連立政権を作った。

2-5**LSU (Liberálně sociální unie):****自由社会連合**

1992年にチェコスロヴァキア社会党(Československá strana socialistická: ČSS)、緑の党(Strana zelených: SZ)、農業党(Zemědělská strana)、農業者運動(Hnutí zemědělců)が合流して作られた政治運動。同年の選挙で議席を得た。このグループは、1996年選挙ではボヘミア・モラヴィア中道連合(Českomoravská unie středu: ČUS)に合流したが、議席は得られなかった。なお、ČSSは1918年設立の社会主義右派政党で、1897年結党のチェコ国民社会党(Česká strana národněsociální)の流れをくむ。1926年にチェコスロヴァキア国民社会党(Československá strana národněsocialistická)と改称。1938年末に活動を停止した。戦後に国民戦線政党として活動を再開し、戦後の連立政権にも参加したが、1948年の共産党による権力掌握後は事実上活動を停止した。ただし、一部の活動家によってČSSという名称で、体制内の衛星政党としてその存在は維持された。1990年選挙では単独で候補者リストを作成したが議席は得られなかった。

2-6**ODA (Občanská demokratická aliance):****市民民主同盟**

1989年12月に設立された中道右派のリベラル政党。1990~91年はOFの枠内で活動していた。1992年選挙では独立した候補者リストを作成したが、チェコ国民評議会のみで議席を得た。選挙後はODSなどとチェコでの連立政権を形成し、それは1996年選挙後も継続した。1998年の下院選挙では候補者を立てることができなかったが、1996年に設置された上院では議席を維持し、1998年選挙後は社会民主党と市民民主党の提携に対して、KDU-ČSL、US、民主連合(DEU)と四党連立(Čtyřkoalice)という政党連合で対抗した時期もあった。2007年に正式に解党された。

2-7**ODS (Občanská demokratická strana): 市民民主党****ODS-KDS (Občanská demokratická strana-Křesťansko-demokratická strana):****市民民主党=キリスト教民主党**

OFの中の経済自由主義派が1991年春に設立した中道右派政党。1992年選挙でチェコの第一党となり、連邦レベルでは民主スロヴァキア運動(Hnutie za demokratické Slovensko: HZDS)と連立政府を作り、連邦解体を主導した。チェコではKDU-ČSL、ODAと連立政府を作り、党首クラウスが首相に就任した。この連立政府は1996年選挙後も継続したが、1997年の経済危機とODS内での資金問題に関するスキャンダルから連立内対立が高まり、同年末にクラウス政権は辞職に追い込まれた。その後もクラウスはODS内での指導権を維持したため、同党内の反クラウス派が離党してUSを立ち上げた。1998年の前倒し選挙では第二党にとどまり、同党は第一党となった社会民主党による単独少数内閣の成立を認めた。2002年選挙でも第二党に終わり、野党にとどまったが、2006年選挙では再度第一党となり、KDU-ČSLおよびSZと連立内閣をつくった。初代党首(現大統領)のクラウスは新自由主義者で、また欧州懐疑論者としても知られる。その立場は党の綱領にも強く反映されている。なお、1992年選挙でODSはKDSと連立リスト市民民主党=キリスト教民主党(Občanská demokratická strana-Křesťansko-demokratická strana: ODS-KDS)を作成したが、その後、KDSはODSに吸収された。

2-8**OF (Občanské fórum):****市民フォーラム**

1989年11月17日の学生デモに始まる民主化要求運動の高まりの中で、同月19日に組織された政治運動。共産党体制を拒否し、政治的複数主義、民主政、法治国家の回復を求める様々な自発的組織や市民で構成された。水平なネットワーク型の組織原理を特徴とし、組織の代表はおかず、プラハの調整センターが運動全体のとりまとめを行った。その中心的メンバーの多くが同年12月に発足する国民和解政府の閣僚となり、また同フォーラムの象徴的な指導者である劇作家のヴァーツラフ・ハヴェルは同年12月29日に大統領に選出された。1990年選挙では、連邦議会のチェコ選出部分と、チェコ国民評議会のいずれにおいても過半数の議席をえて、連邦議会ではスロヴァキアの姉妹組織である「暴力に反対する公衆(VPN)」と連立内閣を組織し、チェコでは、KDUという連立リストで議席を得ていたČSL、KDSなどと連立政府を形成した。その後、垂直的な構造をもつ組織政党への転換を求める経済自由主義派のヴァーツラフ・クラウス(当時は連邦政府財務相、現チェコ大統領)らのグループと、緩やかな水平的構造を維持しようとする中道派のイジー・ディーンストビール(当時連邦政府外相)らのグループの対立が深まり、前者は1991年春に経済自由主義に立つ組織政党を目指してODSを立ち上げ、後者は「市民運動(Občabské hunutí: OH)」という名称でOFの精神を継承しようとした。またこの分裂にともなって、それまでOF内で活動していたODAなどの組織も独自に活動を始め、また社会民主主義者の多くはČSSDに合流した。1992年選挙でODS(ODS-KDS)は第一党となり、その後のチェコ政治の支柱となるが、OHは5%条項の壁を越えることはできなかった。

2-9**SPR-RSČ (Sdružení pro republiku - Republikánská strana Československa):****共和国連盟-チェコスロヴァキア共和党**

1989年11月以降に現れた諸派のひとつで、設立大会は1990年2月。過激な排斥主義的ナショナリズム政党で、チェコスロヴァキア共同国家維持を主張。1990年選挙には全人民民主党(Všelidová demokratická strana)との連立リストで臨んだが、議席は得られなかった。その後、党首のミロスラフ・スラーデク(Miloslav Sládek)の派手な言動で一定の支持者を得て、1992年選挙では連邦議会両院とチェコ国民評議会で、独立後の1996年選挙でもチェコ議会下院で議席を得た。1998年以降は議席を失い、2001年に財政問題から破産宣言を行った。

2-10**SNK-ED (SNK sdružení nezávislých a Evropští demokraté):****独立候補連盟-ヨーロッパ民主主義者**

独立候補連盟(Sdružení nezávislých kandidátů: SNK)はおもに独立系の地方政治家たちによって2000年に設立され、地方議会選挙で一定の成功を収めた。2002年に党名を独立連盟(Sdružení nezávislých)とし、2003年からはSNK独立連盟(SNK sdružení nezávislých)という名称を使っている。ヨーロッパ民主主義者(Evropští demokraté)は元プラハ市長のヤン・カスル(Jan Kasl)を中心して2002年に設立され、同年のプラハ市での地方議会選挙に成功を収めた。2004年の欧州議会選挙では、この両党が連立リストを作成し24議席中3議席を得た。2006年の下院選挙においても連立リストを作成したが、議席は得られなかった。

2-11

SZ (Strana zelených): 緑の党

環境保護を目的とする緑の党設立の動きは1989年の体制変動開始とほぼ同時に始まり、1990年1月にチェコの緑の党 (Strana zelených) が発足。翌2月にスロヴァキア緑の党 (Strana zelených na Slovensku) と統合された。1990年選挙ではスロヴァキア国民評議会で議席を得たものの、チェコでは議席に届かなかった。1991年にチェコとスロヴァキアの組織は別れた。1992年選挙でSZはチェコスロヴァキア社会党 (Československá strana socialistická: ČSS) 、農業党 (Zemědělská strana) 、農業者運動 (Hnutí zemědělců) とLSUという政治運動を組織して議席を得た。1996年選挙では単独リストで選挙に臨もうとしたが、候補者リストの不備でリストの登録が拒否されるという事件があり、選挙に参加できなかった。1998年、2002年の下院選挙でも議席を得ることが出来なかった。党内ではラディカルな環境保護運動を志向するグループと、中道右派勢力との連携も模索する勢力との対立が深まるが、2005年の党大会で後者が指導権を得て、2006年の選挙では6.29%の得票で6議席を得た。選挙後にODS、KDU-ČSLと連立政権を作った。

2-12

US (Unie svobody): 自由連合

US-DEU (Unie svobody-Demokratická unie): 自由連合=民主連合

1997年のODS内での指導権争いに敗れた反クラウス派が離党して立ち上げた経済自由主義に立つ中道右派政党。1998年の前倒し選挙では8.60%の得票で19議席を得た。選挙後はČSSDの単独少数内閣に対しては野党の立場をとった。また、ČSSDとODSの提携に対抗して、KDU-ČSL、ODA、DEUと四党連立 (Čtyřkoalice) という野党連合を組織した。その後USはDEUと合同して自由連合=民主連合 (Unie svobody-Demokratická unie: US-DEU) となり、2002年の選挙ではそれがKDU-ČSLと連立リスト (Koalice KDU-ČSL, US-DEU) を作成して議席を保持し、選挙後はČSSD、KDU-ČSLと連立政府を形成した。2006年下院選挙では議席を失った。

3 1990年2月以降の歴代内閣

1990年2月6日～1990年6月29日

- 第一次ペトル・ピトハルト (Petr PITHART) 内閣

1990年6月29日～1992年7月2日

- 第二次ペトル・ピトハルト (Petr PITHART) 内閣 〈OF、ČSL、KDSなどの連立〉

1992年7月2日～1996年7月4日

- 第一次ヴァーツラフ・クラウス (Václav KLAUS) 内閣 〈ODS、KDU-ČSL、ODAの連立〉
(04.07.1996 - 02.01.1998)

1996年7月4日～1998年1月2日

- 第二次ヴァーツラフ・クラウス (Václav KLAUS) 内閣 〈ODS、KDU-ČSL、ODAの連立〉

1998年1月2日～1998年7月17日

- ヨゼフ・トショフスキー(Josef TOŠOVSKÝ)内閣〈首相は無党派、閣僚にKDU-ČSL、USが含まれる〉

1998年7月22日～2002年7月12日

- ミロシュ・ゼマン(Miloš ZEMAN)内閣 〈ČSSD〉

2002年7月15日～2004年8月4日

- ウラジミール・シュピドラ(Vladimír ŠPIDLA)内閣 〈ČSSD、KDU-ČSL、USの連立〉

2004年8月4日～2005年4月25日

- スタニスラフ・グロス(Stanislav GROSS)内閣 〈ČSSD、KDU-ČSL、USの連立〉

2005年4月25日～2006年8月16日

- イジー・パロウベク(Jiří PAROUBEK)内閣 〈ČSSD、KDU-ČSL、USの連立〉

2006年9月4日～2007年1月9日

- 第一次ミレク・トポラーネク(Mirek TOPOLÁNEK)内閣 〈ODS、KDU-ČSL、SZの連立〉

2007年1月9日～2009年5月8日

- 第二次ミレク・トポラーネク(Mirek TOPOLÁNEK)内閣 〈ODS、KDU-ČSL、SZの連立〉

2009年5月8日～

- ヤン・フィシェル(Jan FISCHER)内閣 〈官僚内閣〉

4 資料

チェコ国民評議会選挙結果

※連邦議会選挙の結果は省略する。

1990年選挙
(6月8日～9日)

登録有権者	7,553,477
投票者数	7,310,856
投票率	96.79
投票数	7,303,620
有効投票数	7,211,047
有効投票率	98.73

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
OF	3,569,201	49.50	127	63.5
KSČ	954,690	13.24	32	16.0
MORSL (Hnutí za samosprávnou demokracii - Společnost pro Moravu a Slezsko)	723,609	10.03	22	11.0
KDU	607,134	8.42	19	9.5
SZV (Spojenectví zemědělců a venkova)	296,547	4.11	0	0.0
SD (Sociální demokracie)	296,165	4.11	0	0.0
SZ	295,844	4.10	0	0.0
ČSS(Československá strana socialistická)	192,922	2.68	0	0.0
SB(Svobodný blok)	75,242	1.04	0	0.0
VDSPR(Všelidová demokratická strana-Sdružení pro republiku)	72,048	1.00	0	0.0
VSZS(Volební seskupení zájmových svazů v ČR)	60,354	0.84	0	0.0
SPP(Strana přátel piva)	43,632	0.61	0	0.0
ČSDF(Československé demokratické fórum)	23,659	0.33	0	0.0
合計	7,211,047		200	

1992年選挙
(6月5日～6日)

登録有権者	7,738,981
投票者数	6,583,988
投票率	85.08
投票数	6,576,026
有効投票数	6,473,250
有効投票率	98.44

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
ODS-KDS	1,924,483	29.73	76	38.0
LEVÝBLOK(Koalice Levý blok-KSČM, DL ČSFR)	909,490	14.05	35	17.5
ČSSD	422,736	6.53	16	8.0
LSU	421,988	6.52	16	8.0
KDU-ČSL	406,341	6.28	15	7.5
SPR-RSČ	387,026	5.98	14	7.0
ODA	383,705	5.93	14	7.0
HSD-SMS	380,088	5.87	14	7.0
OH (Občanské hnutí)	297,406	4.59	0	0.0
HDŽJ (Hnutí duchodců za životní jistoty)	244,319	3.77	0	0.0

1992年選挙
(6月5日～6日)

※前ページからのつづき

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
SČPŽR (Strana československých podnikatelů, živnostníků a rolníků)	203,654	3.15	0	0.0
KAN (Klub angažovaných nestraníků)	174,006	2.69	0	0.0
NEI (Nezávislá iniciativa)	88,823	1.37	0	0.0
SPP (Strana přátel piva)	83,959	1.30	0	0.0
HSS (Hnutí za sociální spravedlnost)	69,621	1.08	0	0.0
D92 (Demokraté 92 za společný stát)	37,839	0.58	0	0.0
ROI (Rómská občanská iniciativa ČSFR)	16,854	0.26	0	0.0
SRNDJ (Strana republikánské a národně demokratické jednoty)	11,115	0.17	0	0.0
NSS-ČSNS (Národně sociální strana - Československá strana národně socialistická)	9,797	0.15	0	0.0
合計	6,473,250		200	

チェコ議会下院選挙結果

1996年選挙
(5月31日～6月1日)

登録有権者	7,990,770
投票者数	6,105,588
投票率	76.41
投票数	6,096,404
有効投票数	6,059,215
有効投票率	99.39

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
ODS	1,794,560	29.62	68	34.0
ČSSD	1,602,250	26.44	61	30.5
KSČM	626,136	10.33	22	11.0
KDU-ČSL	489,349	8.08	18	9.0
SPR-RSČ	485,072	8.01	18	9.0
ODA	385,369	6.36	13	6.5
DŽJ (Důchodci za životní jistoty)	187,455	3.09	0	0.0
DEU (Demokratická unie)	169,796	2.80	0	0.0
SD-LSNS (Svobodní demokraté-LSNS)	124,165	2.05	0	0.0
LB (Levý blok)	85,122	1.40	0	0.0
NEZ (Nezávislí)	30,125	0.50	0	0.0
ČMUS (Českomoravská unie středu)	27,490	0.45	0	0.0
HSMSMNSJ (Hnutí samosprávné Moravy a Slezska - Moravské národní sjednocení)	25,198	0.42	0	0.0
MNS-HSMS (Moravská národní strana-Hnutí slezskomoravského sjednocení)	16,580	0.27	0	0.0
SDL (Strana demokratické levice)	7,740	0.13	0	0.0
ČP (Česká pravice)	2,808	0.05	0	0.0
PB (Pravý blok)	0	0.00	0	0.0
SČK (Strana československých komunistů)	0	0.00	0	0.0
SZ	0	0.00	0	0.0
CAO (Celostátní aktiv občanů)	0	0.00	0	0.0
合計	6,059,215		200	

1998年選挙
(6月19日~20日)

登録有権者	8,116,836
投票者数	6,008,926
投票率	74.03
投票数	5,994,844
有効投票数	5,969,505
有効投票率	99.58

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
ČSSD	1,928,660	32.31	74	37.0
ODS	1,656,011	27.74	63	31.5
KSČM	658,550	11.03	24	12.0
KDU-ČSL	537,013	9.00	20	10.0
US	513,596	8.60	19	9.5
SPR-RSČ	232,965	3.90	0	0.0
DŽJ (Důchodci za životní jistoty)	182,900	3.06	0	0.0
DEU (Demokratická unie)	86,431	1.45	0	0.0
SZ	67,143	1.12	0	0.0
NEZ (Nezávislí)	51,981	0.87	0	0.0
MODS (Moravská demokratická strana)	22,282	0.37	0	0.0
ČSNS (Česká strana národně sociální)	17,185	0.29	0	0.0
OK (Občanská koalice-Politický klub)	14,788	0.25	0	0.0
CAO (Celostátní aktiv občanů)	0	0.00	0	0.0
SDČR (Sdružení důchodců ČR)	0	0.00	0	0.0
A2000 (Alternativa 2000)	0	0.00	0	0.0
PB (Pravý blok)	0	0.00	0	0.0
ODA	0	0.00	0	0.0
合計	5,969,505		200	

2002年選挙
(6月14日~15日)

登録有権者	8,264,484
投票者数	4,793,706
投票率	58.00
投票数	4,789,145
有効投票数	4,768,006
有効投票率	99.56

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
ČSSD	1,440,279	30.20	70	35.00
ODS	1,166,975	24.47	58	29.00
KSČM	882,653	18.51	41	20.50
Koalice KDU-ČSL, US-DEU	680,671	14.27	31	15.50
SNK (Sdružení nezávislých)	132,699	2.78	0	0.0
SZ	112,929	2.36	0	0.0
RMS (Republikáni Miroslava Sládka)	46,325	0.97	0	0.0
SV SOS (Strana venkova - spojené občanské síly)	41,773	0.87	0	0.0
SŽJ (Strana za životní jistoty)	41,404	0.86	0	0.0
ČSNS (Česká strana národně sociální)	38,655	0.81	0	0.0
N (Naděje)	29,955	0.62	0	0.0
PB (Pravý Blok)	28,163	0.59	0	0.0
ODA	24,278	0.50	0	0.0
VPM (Volba pro budoucnost)	16,730	0.35	0	0.0
CZ (Cesta změny)	13,169	0.27	0	0.0
MoDS (Moravská demokratická strana)	12,957	0.27	0	0.0
SZR (Strana zdravého rozumu)	10,849	0.22	0	0.0
AZSD (Akce za zrušení Senátu a proti vytunelování důchodových fondů)	9,637	0.20	0	0.0
BPS (Balbínova poetická strana)	9,287	0.19	0	0.0

2002年選挙
(6月14日～15日)

※前ページからのつづき

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
H.A. (Humanistická aliance)	8,461	0.17	0	0.0
REP (Republikáni)	6,786	0.14	0	0.0
NDS (Národně demokratická strana)	5,532	0.11	0	0.0
DL (Demokratická liga)	4,059	0.08	0	0.0
ČP (Česká pravice)	2,041	0.04	0	0.0
ČSDH (České sociálně demokratické hnutí)	602	0.01	0	0.0
ROI (Romská občanská iniciativa ČR)	523	0.01	0	0.0
SDS (Strana demokratického socialismu)	475	0.00	0	0.0
NH (Nové hnutí)	139	0.00	0	0.0
合計	4,768,006		200	

2006年選挙
(6月2～3日)

登録有権者	8,333,305
投票者数	5,372,449
投票率	64.47
投票数	5,368,495
有効投票数	5,348,976
有効投票率	99.64

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
ODS	1,892,475	35.38	81	40.5
ČSSD	1,728,827	32.32	74	37.0
KSČM	685,328	12.81	26	13.0
KDU-ČSL	386,706	7.22	13	6.5
SZ	336,487	6.29	6	3.0
SNK ED (SNK Evropští demokraté)	111,724	2.08	0	0.0
NEZ/DEM (Nezávislí demokraté (předseda V. Železný))	36,708	0.68	0	0.0
NEZ (NEZÁVISLÍ)	33,030	0.61	0	0.0
SZR (Strana zdravého rozumu)	24,828	0.46	0	0.0
PB (Pravý Blok)	20,382	0.38	0	0.0
US-DEU	16,457	0.30	0	0.0
PaS (Právo a Spravedlnost)	12,756	0.23	0	0.0
M (Moravané)	12,552	0.23	0	0.0
SRŠ (STRANA ROVNOST ŠANCÍ)	10,879	0.20	0	0.0
NS (Národní strana)	9,341	0.17	0	0.0
Koal ČS (Koalice pro Českou republiku)	8,140	0.15	0	0.0
KČ (Koruna Česká (monarchistická strana Čech, Moravy a Slezska))	7,293	0.13	0	0.0
BPS (Balbínova poetická strana)	6,897	0.12	0	0.0
4VIZE (4 VIZE-www.4vize.cz)	3,109	0.05	0	0.0
ČSNS 2005 (Česká strana národně socialistická)	1,387	0.02	0	0.0
HOB (Helax-Ostrava se baví)	1,375	0.02	0	0.0
H.S. (Humanistická strana)	857	0.01	0	0.0
FIS (Folklor i Společnost)	574	0.01	0	0.0
ČP (Česká pravice)	395	0.00	0	0.0
LIRA (Liberální reformní strana)	253	0.00	0	0.0
ČHNP (České hnutí za národní jednotu)	216	0.00	0	0.0
合計	5,348,976		200	

チェコ議会上院選挙結果

※上院の選挙結果は中田瑞穂氏が作成したデータベースを基に作成した。

※上院議員選挙では、2年ごとに全81議席の3分の1(27議席)が改選となる。

※選挙結果は各選挙のために登録された「選挙政党」volební stranaによる。また選挙後の上院会派は議員の所属会派による。「選挙政党」と所属会派は必ずしも一致しない。

※補欠選挙の結果は省略した。

1996 年選挙
(第1回投票日 11月15日～16日 第2回投票日 11月22日～23日)

	第1回	第2回
登録有権者	7,992,740	7,594,316
投票者数	2,800,108	2,326,464
投票率	35.03	30.63
投票数	2,791,085	2,323,441
有効投票数	2,758,125	2,307,259
有効投票率	98.82	99.3

政党	議席数	議席率
ODS	32	39.5
ČSSD	25	30.9
KDU-ČSL	13	16.0
ODA	7	8.6
KSČM	2	2.5
DEU	1	1.2
NK(Nezávislí kandidáti)	1	1.2
TOTAL	81	

1998 年選挙
(第1回投票日 11月13日～14日 第2回投票日 11月20日～21日)

	第1回	第2回
登録有権者	2,666,398	2,665,043
投票者数	1,129,648	542,660
投票率	42.37	20.36
投票数	1,093,675	541,869
有効投票数	962,111	537,091
有効投票率	87.97	99.12

政党	議席数
ODS	9
ČSSD	3
4KOALICE(Čtyřkoalice)	13
KSČM	2
TOTAL	27

選挙後の会派構成(1998年12月17日採決時)

上院会派	議席	議席率
ODS	25	31.3
ČSSD	23	28.8
KDU-ČSL	16	20.0
ODA	11	13.8
無所属	5	6.3
TOTAL	80	

※1議席については、議席の確定について憲法裁判所で係争中であった。

2000 年選挙
(第1回投票日 11月12日 第2回投票日 11月19日)

	第1回	第2回
登録有権者	2,730,142	2,633,794
投票者数	920,704	567,872
投票率	33.72	21.56
投票数	913,140	567,391
有効投票数	860,442	563,524
有効投票率	94.23	99.32

政党	議席数
ODS	8
ČSSD	1
4KOALICE(Čtyřkoalice)	17
NK(Nezávislí kandidáti)	1
TOTAL	27

選挙後の会派構成(2001年1月11日採決時)

上院会派	議席数	議席率
ODS	22	27.2
KDU-ČSL	19	23.5
ODA	16	19.8
ČSSD	15	18.5
無所属	9	11.1
TOTAL	81	

2002年選挙

(第1回投票日
10月25日～26日
第2回投票日
11月1日～2日)

	第1回	第2回
登録有権者	2,797,846	2,708,764
投票者数	674,333	881,693
投票率	24.1	32.55
投票数	673,821	857,491
有効投票数	666,455	822,287
有効投票率	98.91	95.89

政党	議席数
ODS	9
ČSSD	7
KDU-ČSL	1
SNK ED	2
KSČM	1
US-DEU	1
NK(Nezávislí kandidáti)	1
CZ (Cesta změny)	1
HNHRM (HNUTÍ NEZÁVISLÝCH ZA HARMONICKÝ ROZVOJ OBCÍ A MĚST)	1
NEZ (NEZÁVISLÍ)	2
“LiRA”(“Liberální reformní strana”)	1
TOTAL	27

選挙後の会派構成(2003年12月5日採決時)

上院会派	議席数	議席率
ODS	26	32.1
Otevřená demokracie	16	19.8
KDU-ČSL	15	18.5
ČSSD	11	13.6
無所属	8	9.9
“Nezávislí”	5	6.2
TOTAL	81	

※Otevřená demokracie(開かれた民主政)は上院の院内会派

2004年選挙

(第1回投票日
11月5日～6日
第2回投票日
11月12日～13日)

	第1回	第2回
登録有権者	2,715,437	2,614,630
投票者数	786,732	481,475
投票率	28.97	18.41
投票数	777,417	481,191
有効投票数	724,686	478,891
有効投票率	93.22	99.52

政党	議席数
ODS	18
KDU-ČSL	3
USDEUODA (Koalice US-DEU, ODA)	1
KSČM	1
NEZ (NEZÁVISLÍ)	1
SD-SN (Spojení demokraté-Sdružení nezávislých)	1
SNK ED	1
SZ	1
TOTAL	27

選挙後の会派構成(2004年12月16日採決時)

上院会派	議席数
ODS	36
KDU-ČSL	14
Otevřená demokracie	13
ČSSD	7
SNK	7
無所属	3
TOTAL	80

※1 議席については、議席の確定について憲法裁判所で係争中であった。

2006年選挙
(第1回投票日
10月20日~21日
第2回投票日
10月27日~28日)

	第1回	第2回
登録有権者	2,780,914	2,781,827
投票者数	1,170,474	576,630
投票率	42.09	20.73
投票数	1,140,247	576,292
有効投票数	1,063,614	574,555
有効投票率	93.28	99.7

政党	議席数
ODS	14
ČSSD	6
KDU-ČSL	4
“NSK”(“Nezávislí starostové pro kraj”)	1
SOS (Strana pro otevřenou společnost)	1
NK(Nezávislí kandidáti)	1
TOTAL	27

選挙後の会派構成(2006年11月30日採決)

上院会派	議席数	議席率
ODS	41	50.6
ČSSD	12	14.8
KDU-ČSL	11	13.6
Otevřená demokracie	8	9.9
SNK	7	8.6
無所属	2	2.5
TOTAL	81	

2008年選挙
(第1回投票日
10月17日~18日
第2回投票日
10月24日~25日)

	第1回	第2回
登録有権者	2,852,506	2,764,218
投票者数	1,127,259	825,126
投票率	39.52	29.85
投票数	1,115,868	824,490
有効投票数	1,047,358	822,353
有効投票率	93.86	99.74

政党	議席数
ODS	3
ČSSD	23
KSČM	1
TOTAL	27

選挙後の会派構成(2008年11月28日採決時)

上院会派	議席数	議席率
ODS	36	44.4
ČSSD	29	35.8
KDU-ČSL	7	8.6
Otevřená demokracie	6	7.4
無所属	3	3.7
TOTAL	81	

チェコ欧州議会選挙結果

2004年選挙
(6月11日～12日)

登録有権者	8,283,485
投票者数	2,346,010
投票率	28.32
投票数	2,344,290
有効投票数	2,332,862

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
ODS	700,942	30.04	9	37.5
KSČM	472,862	20.26	6	25.0
SNK-ED	257,278	11.02	3	12.5
KDU-ČSL	223,383	9.57	2	8.3
ČSSD	204,903	8.78	2	8.3
NES (NEZÁVISLÍ)	191,025	8.18	2	8.3
SZ	73,932	3.16	0	0.0
ULD (Unie liberálních demokratů)	39,655	1.69	0	0.0
PB (Pravý Blok)	27,504	1.17	0	0.0
NI (NEI) (Nezávislá iniciativa (NEI))	16,762	0.71	0	0.0
RMS (Republikáni Miroslava Sládka)	15,767	0.67	0	0.0
BPS (Balbínova poetická strana)	13,779	0.59	0	0.0
SŽJ (Strana za životní jistoty)	11,951	0.51	0	0.0
SV SOS (Strana venkova - spojené občanské síly)	11,734	0.5	0	0.0
SN ("Sdružení nestraníků")	11,689	0.5	0	0.0
HSMsMoDS (Za zájmy Moravy ve sjednocené Evropě)	9,293	0.39	0	0.0
SZR (Strana zdravého rozumu)	6,316	0.27	0	0.0
SOS (Strana pro otevřenou společnost)	5,413	0.23	0	0.0
KONS (Konzervativní strana)	4,986	0.21	0	0.0
KČ (Koruna Česká (monarchistická strana Čech, Moravy a Slezska))	4,532	0.19	0	0.0
MDS (Masarykova demokratická strana)	4,366	0.18	0	0.0
DS (Dělnická strana)	4,289	0.18	0	0.0
H.A. (Humanistická aliance)	3,977	0.17	0	0.0
HOB (Helax-Ostrava se baví)	3,366	0.14	0	0.0
NARKOAL (Národní koalice)	2,944	0.12	0	0.0
SORČ (Strana občanů republiky České)	2,585	0.11	0	0.0
OFD ("Viktor Kožený - Občanská federální demokracie")	2,030	0.08	0	0.0
SP (Strana práce)	1,717	0.07	0	0.0
SDS (Strana demokratického socialismu)	1,709	0.07	0	0.0
S (SVOBODNÍ)	1,300	0.05	0	0.0
VOS (Všeobecná občanská strana)	873	0.03	0	0.0
合計	2,332,862		24	

2009年選挙
(6月5日～6日)

登録有権者	8,401,374
投票者数	2,371,009
投票率	28.22
投票数	2,369,137
有効投票数	2,358,934

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
ODS	741,946	31.45	9	40.91
ČSSD	528,132	22.38	7	31.82
KSČM	334,577	14.18	4	18.18
KDU-ČSL	180,451	7.64	2	9.09
Suveren. (Suverenita)	100,514	4.26	0	0.00
EDS (Evropská demokratická strana)	68,152	2.88	0	0.00
VV (Věci veřejné)	56,636	2.40	0	0.00
VAŠEALT. ("STAROSTOVÉ A NEZÁVISLÍ - VAŠE ALTERNATIVA")	53,984	2.28	0	0.00
SZ	48,621	2.06	0	0.00
SNK ED	39,166	1.66	0	0.00
Svobodní (Strana svobodných občanů)	29,846	1.26	0	0.00
DS (Dělnická strana)	25,368	1.07	0	0.00
PB (Pravý Blok - strana za ODVOLATELNOST politiků, NÍZKÉ daně, MINIMALIZACI byrokracie, SPRÁVEDLIVOU justici, REFERENDA a PŘÍMOU demokracii WWW.CIBULKA.NET)	23,612	1.00	0	0.00
Libertas (Libertas.cz)	22,243	0.94	0	0.00
SDŽ (SDŽ-Strana důstojného života)	17,061	0.72	0	0.00
DSZ (Demokratická Strana Zelených)	14,761	0.62	0	0.00
NEZ (NEZÁVISLÍ)	12,824	0.54	0	0.00
M (Moravané)	9,086	0.38	0	0.00
SPR-RSČ	7,492	0.31	0	0.00
HNDPSDZP (Nejen hasiči a živnostníci s učiteli do Evropy - www.hnpd.cz, www.sdzp.cz)	6,904	0.29	0	0.00
NS (Národní strana)	6,263	0.26	0	0.00
HS (Humanistická strana)	4,584	0.19	0	0.00
SsČR ("Strana soukromníků České republiky")	4,544	0.19	0	0.00
KČ (Koruna Česká (monarchistická strana Čech, Moravy a Slezska))	4,449	0.18	0	0.00
BPS (Balbínova poetická strana)	3,711	0.15	0	0.00
"Z" (Zelení)	3,717	0.15	0	0.00
ČSNS2005 (Česká strana národně socialistická)	3,269	0.13	0	0.00
LIB (Liberálové.CZ)	1,775	0.07	0	0.00
SSD (Strana svobodných demokratů)	1,423	0.06	0	0.00
SD-SN (Spojení demokraté-Sdružení nezávislých)	1,501	0.06	0	0.00
SDaS (Strana demokracie a svobody)	986	0.04	0	0.00
ČSNS (Česká strana národně sociální)	791	0.03	0	0.00
LAP (Lidé a Politika)	545	0.02	0	0.00
合計	2,358,934		22	

データの出典

政党概要

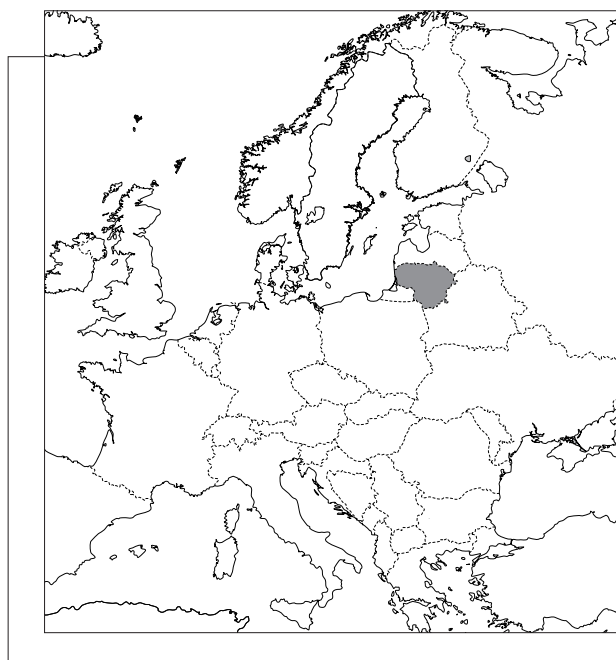
Jiří Malíř, Pavel Marek a kol. *Politické strany: Vývoj politických stran a hnutí v českých zemích a Československu v letech 1861-2004*, 2. díl 1938-2004, Brno, 2005.

Politické strany a hnutí v ČSFR 1992, Praha, 1992.

選挙結果

チェコ統計局 (Český statistický úřad) ホームページ〈<http://www.volby.cz/>〉(チェコ語)、〈http://www.volby.cz/index_en.htm〉(英語)

ポスト社会主義国の選挙・政党データ (ベータ版)「チェコの選挙・政党データ」(中田瑞穂氏作成) 〈<http://www.seinan-gu.ac.jp/~sengoku/database/Czech.xls>〉



リトアニア政党・選挙データ

1. 政治制度と選挙制度
 - 1-1 議会制度と議会選挙
 - 2-2 大統領選挙
2. 主要政党の概要
 - 2-1 LSDP、LDDP
 - 2-2 TS-LKD、TS-LK、LKDP
 - 2-3 LiCS、LLS、LCS
 - 2-4 DP
 - 2-5 PTiT
 - 2-6 NS (SL)
 - 2-7 LVLS、VNDS、LVP、NDP
 - 2-8 TPP
 - 2-9 LRLS
 - 2-10 LLRA
 - 2-11 LRS
 - 2-12 JL
 - 2-13 LLL
3. 歴代大統領
4. 1992年選挙後の歴代内閣
5. 資料

1 政治制度と選挙制度

1-1 議会制度と議会選挙

議会制度のあらまし

リトアニアの議会 (Seimas: セイマス) は一院制である。選挙権は18歳以上、被選挙権は25歳以上にあり、議員任期は4年間である。全141議席のうち70議席を比例区、71議席を小選挙区で選出する。この際、選挙区間での票や議席の連関はせず相互に独立しているため、小選挙区比例区並立制に分類される。比例区の議席配分は最大剰余ヘア基数方式で計算されている。なお、集計方式や投票方法等について、しばしば細かい変更点があるため、各年の記述にて詳述する。

1992年総選挙

ソ連からの再独立後、初めて行われた総選挙であり、上記されているような基本的な制度枠組はこのときから変更されていない。比例区は拘束名簿であり、また、最低得票要件 (阻止条項・閾値) として4%が設定されている。ただし、選挙管理委員会によって少数民族組織として認可された団体については、この阻止条項が適用されない。小選挙区は二回投票制 (TRS) を採用し、第1回投票で投票数の50%以上を獲得した候補がいなかった場合には、上位2名の候補によって2週間後に決選投票を行う。

1996年総選挙

前選挙時と基本的な枠組みは変更されていないが、比例区における阻止条項要件が、4%から5%へと引き上げられ、また政党連合 (比例区向けの合同リスト) の形で出馬した場合には7%が閾値として設定された。少数民族組織への特例は廃止され、同様の基準でふるいにかげられることとなった。さらに、比例区での出馬については、政党としての登録が要件となり、社会的組織の名目での出馬することが不可能になった。

投票方法に変更があり、比例区での投票時に党内候補に対して積極的な評価や消極的な評価を下すことができるようになった。ただし、候補者への選好は評価・異議として政党および候補者に伝えられるだけのものであり、最終的な当選順を規定するものではない。

2000年総選挙

小選挙区での議席決定が、従来の二回投票制から単純多数制 (FPTP) 方式へと変更された。さらに、比例区での投票は5位までの選好投票が可能となり、完全に非拘束名簿式へと移行した。

2004年総選挙・2008年総選挙

小選挙区での議席決定が1996年以前と同様の二回投票制に戻った。他の規定はそれ以前と同様である。

1-2 大統領選挙と大統領議会関係

リトアニアの大統領(任期5年)は国民の直接選出によって決定される。第1回投票で過半数の支持を得る候補が現れなかった場合には、2週間後に第2回投票(決戦投票)がおこなわれ、より多く得票した候補が大統領となる。選挙権は18歳以上、被選挙権は40歳以上の国民に付与され、20,000名分の署名を集めた者が、旧KGBやNKVD等での勤務歴および該当期間との過去の関係について記した書面を提出した上で、中央選挙管理委員会の審査を経て正式に候補者として認定される。2期就任が可能であり、3選は憲法上の規定によって禁止されている。また、特定党派への所属が憲法上禁じられているため、政党所属議員などが就任した場合、任期中は党から離れることになる。

大統領は、議会の助言を受けて首相を指名する。その首相候補に組閣を指示し、議会の可決を経た内閣を承認する役割を担う。議会において内閣不信任案が可決した場合、内閣は解散総選挙を選択することも可能だが、それには大統領の承認が必要である。一方、大統領が憲法違反などを起こした場合、裁判所判断を参照し、議会の5分の3の承認を通じて、弾劾されることになる。

議会を通過した法案について大統領は、10日以内に署名して承認するか拒否権を発動して差し戻さなければならない。期限内に署名も拒否もなされなかった場合、法案は自動的に議会議長の署名のもと発効する。このように大統領は拒否権を発動することが可能であり、修正要求を出すこともできるが、議会の再審議を経たのちの過半数可決が優先される。また大統領本人も法案発議権を持つ。外交・安全保障の分野については大統領府が主たる政策決定者となり、通常の国籍取得プロセスを経ない特別な国籍付与などの専権事項もある。

2 主要政党の概要

2-1

LSDP (Lietuvos Socialdemokratų Partija): リトアニア社会民主党

-LDDP (Lietuvos Demokratinė Darbo Partija): リトアニア民主労働党を含む

(<http://www.lsdp.lt/>)

現在のLSDPは、2001年1月に、LDDPと(旧)LSDPが合併したことによって成立した社会民主主義政党である。その一端を担ったLDDPは、1990年12月にリトアニア共産党の改革独立派をもとに、ブラザウスカス(Algirdas Brazauskas)を党首として設立。1992年総選挙では単独過半数を獲得し、共産党後継政党の政権獲得として国内外に衝撃を与えた。また、党首ブラザウスカスが翌1993年に大統領として選出された。社会民主主義的な党綱領を掲げ、1996年の総選挙まで3つの内閣を単独で維持、運営したが、経済的不況と党執行部内の汚職スキャンダルによって1996年総選挙では大敗した。なお、初代党首ブラザウスカスは大統領就任によって党籍を抜かなければならなかったため、議会議長であったユルシェーナス(Česlovas Juršėnas)が、LDDP第二代党首に就任した。

一方の(旧)LSDPは、党史としては1890年ロシア帝国下時代の発足を最初の結党とし、1990年に「復活」を名目として発足。経済的左派を標榜し大きな政府を志向した。ソ連編入によって抑圧された経緯から、同じ左派政党ではあるものの、共産党後継政党であるLDDPを敵視し、また民族主義的側面も持ち合わせていた。しかし、1992年、1996年の総選挙で獲得した議席

は8議席、12議席と少なく、またLDDPが1992年からの政権を4年間安定的に運営したことをうけ、党内ではLDDPへの接近論が強まり、1999年に新党首としてLDDP接近派のアンドリュカイティス (Vytenis P. Andriukaitis) が選出され、LDDPとの協力路線へと転じた。

これらの状況をうけ、両党は2000年総選挙を前にして歴史的な協力関係を結ぶ。同年9月3日に行われた共同党大会は「新しい団結の時代」の象徴とされた。両党は選挙に向けて、1998年の大統領任期終了後に政界を引退していたブラザウスカスを擁し、NDP [2-7] とLRS [2-11] を加えた選挙連合ABSK (アルギルダス・ブラザウスカス社会民主連合) を構成。ABSKは2000年総選挙で51議席獲得の勝利を収め議会内第一会派となった。選挙直後の政権は、第二党以下の中道諸政党の連立政権となったが、当該政権が2001年6月に瓦解したため、NS(SL) [2-6] とともに第一次ブラザウスカス内閣を発足させて連立与党の中心となった。

その直前の1月27日に、LDDPとLSDPは、国会議席比42対7および党員比約8300対4000と、LDDP優勢な形で完全な合併を達成し、ブラザウスカスを党首としてリトアニア最大党員数(当時)を誇る(新)LSDPとなった。つづく2004年総選挙にも勝利し、第二次ブラザウスカス内閣を2006年まで運営。当該政権は、与党内の汚職や政争によって任期途中で終焉したが、新政権はふたたびLSDPのキルキラス (Gediminas Kirkilas) を首相とした少数派政権によって担われた。本政権は最大野党であるTS-LK (後述 [2-2]) との非公式な協力関係を調達することで(いわゆる2Kプロジェクト: 詳細は [2-2]) 安定的に政権を運営したが、エネルギー政策をめぐる対立から袂を分かち、2008年の総選挙ではTS-LKDを中心とした右派勢力に敗北した。現在の党首はブトケヴィチウス (Algirdas Butkevičius) である。ブラザウスカス元党首とその後継者キルキラス元党首は、LDDPプロパーの人間であったが、ブトケヴィチウスの党首就任によって、(旧)LSDP系の人物が初めて(新)LSDPの党首となった。

2-2

TS-LKD (Tėvynės Sąjunga-Lietuvos Krikščionys Demokratai):
祖国同盟-リトアニアキリスト教民主党

-TS-LK (Tėvynės Sąjunga-Lietuvos Konservatoriai): 祖国同盟-リトアニア保守党

-LKDP (Lietuvos Krikščionių Demokratų Partija): リトアニアキリスト教民主党を含む

〈<http://www.tsajunga.lt/>〉

TS-LKDは2008年総選挙前の5月に、TS-LKとLKDPが合併して成立した政党である。その主体となったTS-LKは1993年5月1日に独立運動組織のサーユディスを母体として、ランズベルギス (Vytautas Landsbergis) 党首のもと結成された。先行邦語研究では祖国連合・故国連合ともよばれる。母体となったサーユディス連合は1992年の総選挙で大敗を喫したが、1996年総選挙では、ほぼ半数となる70議席を獲得して政権の核となり、下記LKDPとともに3つの政権を運営した(1996-1999年の政権にはLCS: 詳細 [2-3] も参照)。保守的な政治思想を主張し一般的には右派民族派とみなされるが、経済政策については必ずしも右派的な自由主義経済を主張せず、大きな政府への志向も持ち合わせていた。政権運営中の1999年には、数人の議員が造反し、より民族主義的な新党として、祖国人民党Tautas Liaudies Partija (TLP) を結成した。これはのちにLLL [2-13] を含めた3党によってリトアニア右翼党Lietuvos Dešiniųjų Sąjunga (LDS) を結成。2000年にも元首相のヴァグノリウス (Arūnas Vagnorius) が離党して別政党を立ち上げており、これらの離党騒ぎに加え、中道諸政党の台頭によって2000年総選挙は9議席にまで勢力を減らした。しかし、上記LDSの再吸収や、民族主義的泡沫政党のリトアニア政治犯・難民同盟Lietuvos Politinių Kalinių ir Tremtinių Sąjunga (LPKTS)の吸

取を経て2004年総選挙では25議席を獲得。TS-LKは、2006年成立のキルキラス政権が少数派政権となったことをうけ、党派的な対立よりは議会の安定性確保と自党利益追求の観点から閣外協力を実施。事実上の大連立状況を生み出すことで、野党でありながら、第二代党首クビリウス (Andrius Kubilius) を議会副議長に就任させた。この、左右両陣営の協力関係はLSDP党首キルキラスとTS-LK党首クビリウスの頭文字をとって「2Kプロジェクト」とよばれたが、リトアニア政党政治史における左右二大勢力同士の協力関係が長期化することはありえず、LSDPの項 [2-1]においても記したように、2007年の秋ごろに協力関係は終焉した。

LKDPは1990年3月22日に成立したが、党史としては戦間期独立直前の1904年結党としていたため、1990年の成立は「再結党」とされる。実質的には、サーユディスメンバーのうち、古都カウナスのグループを中心に再結成された。小さな政府と犯罪抑止を掲げ、1992年総選挙では9議席、1996年総選挙では16議席と勢力をのびし、TS-LKとともに政権を運営した。一方で党内における現実派と教条派の対立がはげしく、民族主義化していく党に抵抗する党員が、1998年に近代キリスト教民主同盟Moderniujų Krikščionių Demokratų Sąjunga (MKDS) を結成して離脱。LKDPは右派陣営が軒並み支持を失った2000年の総選挙で議席喪失の瀬戸際に追い込まれた。その後、泡沫キリスト教系政党との合併をおこない、党名をLietuvos krikščionys demokratai (LKD) (邦訳は同じリトアニアキリスト教民主党) へと変更するが議席は得られず、長年協力関係にあったTS-LKに吸収されることになった。

LKDが合流したことによって、新たにTS-LKDを名乗り、リトアニア最大党員数(発足当時約20400人)を誇る政党に成長した。党首は継続してクビリウスであり、その後挑んだ2008年総選挙では第一党となり第二次クビリウス政権を発足させている。

2-3

LiCS (Liberalų ir Centro Sąjunga): 自由中道同盟

-LLS (Lietuvos Liberalų Sąjunga): リトアニア自由同盟

-LCS (Lietuvos Centro Sąjunga): リトアニア中道同盟を含む

〈<http://www.lics.lt/>〉

自由中道同盟は、主にLCSとLLSという2つの政党を前身として2003年に成立した、自由主義・中道主義的政党である。LCSは、リトアニア中道運動Lietuvos Centro Judėjimas (LCJ) を前身に、サーユディスメンバーであり元共産党員のオゾラス (Romualdas Ozolas) を党首として1993年に結党された。中道右派路線の小政党だったが、1996年総選挙に13議席を獲得して与党入りする。LLSは、独立回復宣言の出された1990年3月11日に結成されたが、LCSと同様に中道の小政党であった。両政党は、当時台頭しつつあった新興中道左派政党のNS (SL) [2-6] とともに、2000年の選挙戦において、左右両陣営に属さない第三のグループとして共闘関係を結び、勝利する。特にLLSは、カリスマ的な人気を誇った元ヴィリニウス市長・元首相のパクサス (Rolandas Paksas) の加入および党首就任をうけ、ポピュリスト型のリベラル政党として1議席から34議席と大きく勢力を伸ばしたが、一方でオゾラス率いるLCSは2議席にまで議席を減らしてしまう。LLSとLCSは、NS (SL) およびMKDS ([2-2]参照) とともに2000年総選挙以降の第二次パクサス政権を運営したが、NS (SL) の造反にあいわずか8カ月で下野し、パクサスもこの後LLSを去っている。その後、NSを除く3党は2003年に合併しLiCSを結成するが、この際、オゾラスを含む一部の元LCS議員はLLSとの合併に同意できず離党した。欧州自由民主改革党に所属するように、自由主義を主張する政党であり、リトアニア政党政治におけるリベラリ陣営の核となっていたが、LiCSとしての初代党首であり

ヴィリニウス市長であったズオカス (Artūras Zuokas) の汚職疑惑をうけて、反ズオカス派を中心とした11議員 (全18議員中) が2005年10月に離党し、独自のリベラル勢力を構成した。これはのちに2006年2月にLRLSとして発足した (詳細はLRLSの項 [2-9]参照)。2008年総選挙でも一定の議席を獲得し、政権入りを果たしている。

※なお、LLSと良く似た党名の党として、Lietuvos Laisvės Sąjungaがある。略記は同じLLSとなり、率直な邦訳も同じ「リトアニア自由同盟」となってしまうため時折混同されるが、2000年に1議席をとっただけの泡沫政党であり、現在もとくに議席は得ていない。また、下記 [2-13] のLLLとも時折混同されるが、こちらも別組織である。

2-4 DP(Darbo Partija): 労働党 〈<http://www.darbopartija.lt/>〉

リトアニアに居住するロシア人企業家であり、ケダイネイ地方の無所属議員であったウスパスキフ (Viktor Uspaskich リトアニア名: ヴィクトラス・ウスパスキハス) に率いられ、2003年に結成された。2004年欧州議会選で、リトアニア割当議席の最大議席を獲得し欧州民主党に加わった。同年に行われた国政選でも39議席を獲得し、新興ポピュリスト政党でありながら第一党に躍り出た。ただし選挙後の連立工作からは当初排除され、後にLSDPを軸とした左派政権に、NS (SL) [2-6]、VNDS [2-7] とともに与する。以降は中道左派的な政策を掲げるようになるが、既存政党への挑戦的態度を抑制することはなく、党首ウスパスキフの言動もあいまって政権に混乱をもたらした。NS (SL) が2006年に連立を離脱しているのも、DPとの衝突のためである。その後、ウスパスキフ本人に学歴詐称や大規模な汚職疑惑がかかり、ウスパスキフはロシアへ一時的に逃亡し、党も政権を離脱した。これは第二次ブラザウスカス内閣終焉の一因でもある。2006年には、反ウスパスキフ派によって数名の議員が離党して、市民民主党 Pilietinės Demokratijos Partija (PDP) を結成していたが、本政党は2008年総選挙で議席を喪失。一方DPはリトアニア農村部や一部ロシア系住民からの支持を維持しており、2008年総選挙でも10議席を獲得している。

2-5 PTiT (Partija “Tvarka ir Teisingumas”): 政党「秩序と正義」 〈<http://www.ldp.lt/>〉

TS-LK 党員時代にはヴィリニウス市長と首相を勤め、その後LLS党首としてふたたび首相になり全国的な人気を博していた元首相のパクサスによって2002年に結成された。結成当時の名称は自由民主党 Liberalų Demokratų Partija (LDP) である。パクサスの個人的人気を軸にした反既存政党の傾向があり、国内の一部からは国家主義的と認識されているものの、エスニックな意味でのリトアニア民族主義的な側面は薄く、首都ヴィリニウスと農村部 (特にパクサスの出身地テルシェイを含む北西部) からの支持が根強い。2002年末の大統領選で、党首パクサスが大統領に選出されるが、1年後には側近の不祥事や組織犯罪関与などによって憲法違反の咎を受け弾劾される。なお、これは中東欧諸国で初めて大統領が弾劾されたケースでもある。しかしパクサス個人のカリスマ的人気は依然衰えず、2004年総選挙ではポピュリスト的な泡沫政党と選挙連合をくみ10議席を獲得し、2006年に現在の党名へと変更した後に臨んだ2008年総選挙においても、単独で15議席を得て第四党となった。2009年欧州議会選挙では第三党にまでなっており、その人気は続いている。

2-6**NS(SL) (Naujoji Sąjunga <Socialliberari>):****新同盟(社会自由党)** 〈<http://www.nsajunga.lt/>〉

1999年大統領選挙にて惜敗した元検事総長パウラウスカス (Artūras Paulauskas) が、大統領選挙の直前に結成していた中道左派政党である。既存の左右両陣営に対する不支持層が増大している中でおこなわれた、1998年統一地方選挙と2000総選挙における中道新勢力台頭の中心的役割をはたした。2000年総選挙直後には、NS(SL)およびLLSを中心とした「第三勢力陣営」による政権を立ち上げる。LLS(当時)のパクサスが首相となり、パウラウスカスはNo.2ポジションの議会議長に就くが、年金問題等をめぐって政権運営が不安定化。NS(SL)は、野党第一党LSDP(=ABSK)との水面下交渉を行い、2001年6月18日の政権離反表明とともにLSDPとの政権プランを策定。第二次パクサス政権を終焉に導き第一次ブラザウスカス内閣成立の立役者となる。

その後の第二次ブラザウスカス政権にも参加し、長期にわたって与党の地位にあったが、2006年に議長パウラウスカスに対して野党から不信任案が提出されると、同じ与党の労働党による不信任案賛成の裏切りにあった。もともと与党内において新同盟と労働党の関係は良好ではなかったが、これをうけて2006年4月に下野した。その後、ブラザウスカス政権の後を継いで成立したキルキラス内閣が少数派政権であったために、政権復帰の誘いを受け続け、ふたたび政権入りするが、2008年総選挙では大敗した。当該選挙で取得した議席はわずか1議席と議席喪失の危機に瀕しているため、現在は、同じように勢力衰退が見られる農民人民同盟 [2-7]と議会内統一会派を組んでいる。党首は一貫してパウラウスカスである。

2-7**LVLS (Lietuvos Valstiečių Liaudininkų Sąjunga): リトアニア農民人民同盟****-VNDS (Valstiečių ir Naujosios Demokratijos Partijų Sąjunga): 農民新民主党同盟****-LVP (Lietuvos Valstiečių Partija): リトアニア農民党****-NDP (Naujoji Demokratija Partija): 新民主党を含む** 〈<http://www.lvls.lt/>〉

前身のVNDSは、LVP、NDPの二つの合併によって成立した。LVPは1990年に、農村部の元共産党員を中心として成立し、農村利益を代表する政党であったが、長らく国政では小政党であった。NDPは1992年に成立したリトアニア女性協会を母体として、1995年に、初代首相にして独立運動指導者の1人であるプルンスキエネ (Kazimira Prunskienė)のもと成立した。当初の名称はリトアニア女性党Lietuvos Moterų Partija (LMP)であり、1996年にはその名目が出馬していたが、その後名称を変更してNDPとなり、2000年にはABSK [2-1]の一端を担った。

両党は、2001年にプルンスキエネ党首のもと合同をおこないVNDSとして成立し、2004年総選挙で10議席を獲得している。ただしこの際、小選挙区に限ってはそれぞれ以前の党名で別個に出馬している。その後の完全合併にあわせて2006年にLVLSへ改名したが、これは戦間期に存在した政党(1922年成立)と名称をあわせた形であり、戦間期政党の後継者・復活政党であると主張しはじめたため議論を呼んだ。2001年のNDP時代より一貫して連立与党の地位にあったが、2008年総選挙ではわずか3議席を獲得したのみで下野し、プルンスキエネも党首の座を退いた。現在はNS(SL)と議会内会派を組んで協力関係にある。

2-8**TPP (Tautos Prisikėlimo Partija):****国民復興党** 〈<http://www.prisikelimopartija.lt/>〉

2008年の総選挙を前に新しく結成された政党である。結成時の党首ヴァリンスカス (Arūnas Valinskas) は元歌手・TVショウタレントであり、議員にも政治・行政分野以外からの出身が多い。既存政党への批判を展開するポピュリスト的の傾向を持ち、現地では「セレプリティ政党」と揶揄する向きもある。2008年総選挙では16議席を獲得して第三党となり政権入りした。しかし、2009年の欧州議会選ではすでに支持を失っており、あらゆる出馬政党のうち下から2番目の得票数となった。ヴァリンスカスは政権第二党の党首として2008年総選挙後にセイマス議長に就任していたが、裏社会とのつながりが露見し、2009年に不信任決議を受けた。2009年7月15日には2つの会派へと分裂している。なお、選管が正式に管理している英語表記は Rising Nation Party だが、報道や学術研究などでは一般的に National Resurrection Party の表記の方が良く見られる。

2-9**LRLS (Lietuvos Respublikos Liberalų Sąjūdis):****リトアニア共和国自由運動** 〈<http://www.liberalai.lt/>〉

もともとは LiCS [2-4] に所属していたリベラル志向・中道志向の議員のうち、2005年の党首ズオカス汚職疑惑をうけて離党した議員によって2006年2月に成立した。基本的な政党プログラムは LiCS のそれと大差がなく、欧州政党も同一のものに属している自由主義政党であるが、汚職の撤廃なども一つの重要イシューとしている (もともと、汚職の撤廃を掲げるのはどこの政党も同様である)。2008年総選挙が初の総選挙であったが、選挙前とかわらぬ11議席を獲得し政権に加入した。政権には、離党元の LiCS も参加しているが、2009年秋段階では再統合への動きは見られない。

2-10**LLRA (Lietuvos Lenkų Rinkimų Akcija):****リトアニア・ポーランド人選挙運動** 〈<http://www.awpl.lt/>〉 (09年8月以降アクセス不可)

1988年にリトアニア・ポーランド人同盟 Lietuvos Lenkų Sąjunga (LLENS) として成立し、政党登録はせずに社会組織として1992年総選挙に出馬した。同年の総選挙では比例区で2%強の得票しか得られなかったが、当時設定されていた少数民族組織に対する阻止条項免除規定をうけ2議席を獲得し、小選挙区の2議席と合わせて4議席を得た。その後の1995年統一地方選挙以降、出馬には政党登録が必要となったため、党首ヤン・センケヴィチ (Jan Sienkiewicz) のもと、1994年に LLRA として正式に結党、政党登録を行う。1996年以降は、ポーランド系の多いリトアニア南東部の小選挙区においてコンスタントに数議席を獲得するようになっており、2009年の欧州議会選でも12議席中の1議席を獲得するに至った。2001年成立の第一次ブラザウスカス内閣において与党入りしている。

2-11**LRS (Lietuvos Rusų Sąjunga):****リトアニアロシア人同盟** 〈<http://www.sojuzru.lt/>〉

1995年に結党された国内最大のロシア人組織・政党であり、セルゲイ・ドミトリエフ (Sergey Dmitriyev) 党首のもと400名ほどの議員をあつめ形成された。国政選挙には初回を除いて毎回

出馬している。国政選挙においては議席を得ることができておらず、2000年総選挙では左派陣営の選挙連合ABSKの一端をなすが、LRSへの割り当て議席はなく、その後もLRS名義では議席を得られていない。地方選挙では、ロシア人の多いリトアニア南東部でいくばくかの議席を得ている。

2-12 JL(Jaunoji Lietuva): 青年リトアニア

戦間期から存在した青年組織を母体とする。再独立後の結成は1988年だが正式な政党登録は1994年である。ウルトラ・ナショナリストと分類され、リトアニア独立運動期にはソ連時代移民の排斥とリトアニア人によるリトアニア国家の建設を志向。また選挙ごとに、さまざまな民族主義的諸泡沫政党との合従連衡を繰り返すため、正式な党名がしばしばかわり、リトアニア国民青年同盟(1988-1989)、リトアニア民族青年同盟“青年リトアニア”(1989-1994)、リトアニア民族主義党“青年リトアニア”(1994-2000)、“青年リトアニア”新国民党同盟(2000年-2005年)、政党“青年リトアニア”(2005-現在)、といった具合に変化しているが、おおよそ青年リトアニアの表記は残されるようになっている。1996年と2000年の総選挙では議席を得た。

2-13 LLL (Lietuvos Laisvės Lyga): リトアニア自由連盟(リトアニア解放連盟)

1988年に公式に結成され2001年まで存在した急進的民族派運動・政党である(正式な政党登録は1995年)。また、源流は1978年結成の地下組織であるとしていた。1990年のソ連体制下における自由選挙についてはボイコットを求め、ソ連との交渉無しの即時独立を希求した。国政選挙では一度も議席を取れていないが、独立運動期には重要なアクターの一つだった。またその強固な民族主義的傾向ゆえに、ソ連からの独立運動時に他のバルト諸国で活動していた、ラトヴィア民族独立運動(LNNK)やエストニア民族独立党(ERSP)のカウンターパートと見られることもあった。2000年総選挙では民族主義的泡沫政党との合同リストをくむが議席をえられず、2001年に民族派諸政党とのLDS結成に参加(詳細は[2-2]参照)。その後はTS-LKに吸収された。

※なお本政党は、リトアニア独立運動を描いた邦語文献であると時折登場するが、90年代に書かれたものであるとLLS[2-3]台頭以前のため、「リトアニア自由同盟」と訳されていることも多い。しかし、その後登場したLLSとの組織的関連は無く、また現在はLLSの方を自由同盟と訳することが定着しているため、本党には自由連盟あるいは解放連盟との訳語をあてた。また、これはいくつかの先行邦語研究にも倣うものである。

3 歴代大統領

1990年3月11日～1992年11月25日

- ヴィータウタス・ランズベルギス(Vytautas Landsbergis)
(暫定憲法に基づく国家元首としての、リトアニア共和国議会議長に選出)

1993年2月25日～1998年2月25日

- アルギルダス・ブラザウスカス(Algirdas Brazauskas)

1998年2月26日～2003年2月26日

- ヴァルダス・アダムクス(Valdas Adamkus)

2003年2月26日～2004年4月6日(弾劾により免職)

- ロランダス・パクス(Rolandas Paksas)

2004年4月6日～2004年7月12日

- アルトゥーラス・パウラウスカス(Artūras Paulauskas)〈大統領代行〉

2004年7月12日～2009年7月12日

- ヴァルダス・アダムクス(Valdas Adamkus)

2009年7月12日～

- ダリャ・グリーバウスカイト(Dalia Grybauskaitė)

4 1992年選挙後の歴代内閣

※引責辞任などに伴う、代行首相・内閣は省略

1992年12月12日～1993年3月10日

- ブロニスロヴァス・ルビース(Bronislovas Lubys)内閣
(LDDP単独 ただしルビースは無所属)

1993年3月10日～1996年2月8日

- アドルファス・シュレジェヴィチウス(Adolfas Šleževičius)内閣〈LDDP単独〉

1996年2月23日～1996年11月19日

- ラウリーナス・スタンケヴィチウス(Laurynas M. Stankevičius)内閣〈LDDP単独〉

1996年12月4日～1999年5月3日

- 第二次ゲディミナス・ヴァグノリウス(Gediminas Vagnorius)内閣
(TS-LK、LKDP、LCSによる連立)

1999年6月1日～1999年10月27日

- 第一次ロランダス・パクス(S Rolandas Paksas)内閣 〈TS-LK、LKDPによる連立〉

1999年11月3日～2000年11月9日

- 第一次アンドリュス・クビリウス(Andrius Kubilius)内閣 〈TS-LK、LKDPによる連立〉

2000年10月27日～2001年6月20日

- 第二次ロランダス・パクス内閣 〈LLS、NS(SL)、LCS、MKDSによる連立〉

2001年7月4日～2004年12月15日

- 第一次アルギルダス・ブラザウスカス(Algirdas Brazauskas)内閣
〈LSDP、LDDP、NDP、NS(SL)による連立〉

2004年12月29日～2006年6月1日

- 第二次アルギルダス・ブラザウスカス内閣 〈LSDP、DP、VNDS、NS(SL)による連立〉

2006年7月4日～2008年11月27日

- ゲディミナス・キルキラス(Gediminas Kirkilas)内閣
〈LSDP、LVLS、PDP、LiCSによる連立〉

2008年12月9日～

- 第二次アンドリュス・クビリウス内閣 〈TS-LKD、TPP、LiCS、LRLSによる連立〉

※歴代内閣についてはリトアニア内閣http://old.lrv.lt/main_en.php?cat=35

構成政党は内閣発足時のもの 90年3月から初回選挙までに存在した移行期4内閣については割愛

5 資料

リトアニア議会選挙結果

1992年選挙

(第1ラウンド 10月25日・
第2ラウンド 11月15日)

	第1ラウンド 比例区	第1ラウンド 小選挙区	第2ラウンド 小選挙区
登録有権者	2,549,952	2,549,952	UNK
投票数	UNK	1,918,027	1,335,500
投票率	75.29	75.22	64.76
有効投票数	1,858,586	1,858,574	UNK

政党(政党連合)	比例区				小選挙区		合計		
	得票数	得票率	議席数	議席率	議席数	議席率	議席数	議席率	
LDDP	817,332	43.98	36	51.43	37	52.11	73	51.77	
Sąjūdžio Koalicija	393,502	21.17	17	24.29	13	18.31	30	21.28	
LKDP,LPKTS, LtDP sąrašas	LKDP LPKTS Lietuvos Democratų Partija	234,368	12.61	10	14.29	6	8.45	18	12.77
						2	2.82		
						0	0.00		
LSDP	112,410	6.05	5	7.14	3	4.23	8	5.67	
KDS ir LTJS"JL" sąrašas	KDS "JL"	66,027	3.55	0	0.00	1	1.41	1	0.71
						0	0.00		
LCJ	46,910	2.52	0	0.00	2	2.82	2	1.42	
LLENS	39,773	2.14	2	2.86	2	2.82	4	2.84	
LTS ir NP sąrašas	Lietuvių Tautininkų Sąjunga Nepriklausomybės Partija	36,916	1.99	0	0.00	3	4.23	4	2.84
						1	1.41		
LLS	28,091	1.51	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
LLL	22,034	1.19	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Tautos Pazangos Judejimas	19,835	1.07	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Nuosaičiuju Judejimas	13,002	0.70	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Visuomeninis Politinis Judejimas uz Socialini Teisinguma	9,734	0.52	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Laisvės Sąjunga	7,760	0.42	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Judejimas "Cernobylis"	4,827	0.26	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Sandrauga	4,161	0.22	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Patriotų Sąjunga	1,904	0.10	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Lithuanian Consultative Assembly					0	0.00	0	0.00	
Temperance Movement of Bishop M. Valancius					0	0.00	0	0.00	
無所属					1	1.41	1	0.71	
合計	1,858,586		70		71		141		

1996年選挙

(第1ラウンド 10月20日・
第2ラウンド 11月10日)

	第1ラウンド 比例区	第1ラウンド 小選挙区	第2ラウンド 小選挙区
登録有権者	2,597,530	2,595,794	2,401,557
投票数	1,374,673	1,373,089	1,002,597
投票率	52.92	52.90	41.75
有効投票数	1,306,922	1,312,485	954,823

政党（政党連合）	比例区				小選挙区		合計		
	得票数	得票率	議席数	議席率	議席数*	議席率	議席数	議席率	
TS-LK	409,585	29.80	33	47.14	37	52.11	70	49.65	
LKDP	136,259	9.91	11	15.71	5	7.04	16	11.35	
LDDP	113,333	8.24	9	12.86	4	5.63	13	9.22	
LCS	130,837	9.52	10	14.29	3	4.23	13	9.22	
LSDP	90,756	6.60	7	10.00	5	7.04	12	8.51	
"JL"	52,423	3.81	0	0.00	1	1.41	1	0.71	
LMP	50,494	3.67	0	0.00	1	1.41	1	0.71	
KDS	42,346	3.08	0	0.00	1	1.41	1	0.71	
LLRA	40,941	2.98	0	0.00	3	4.23	3	2.13	
Lietuvos Tautinių Mažumų Alijansas (LTMA)	33,389	2.43	0	0.00	1	1.41	1	0.71	
LTS ir LtDP sąrašas	Lietuvių Tautininkų Sąjunga	28,744	2.09	0	0.00	1	1.41	3	2.13
	Lietuvos Demokratų Partija				0.00	2	2.82		
LLS	25,279	1.84	0	0.00	1	1.41	1	0.71	
LVP	22,826	1.66	0	0.00	1	1.41	1	0.71	
LRS	22,395	1.63	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
LPKTS	20,580	1.50	0	0.00	1	1.41	1	0.71	
Lietuvos Laisvės Sąjunga	20,511	1.49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Ūkio Partija	16,475	1.20	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
LLL	12,562	0.91	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Socialinio Teisingumo Sąjunga	12,234	0.89	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Socialistų Partija (LSP)	9,985	0.73	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Respublikonų Partija (RP)	5,063	0.37	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Tautos Pazangos Partija	3,922	0.29	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Gyvenimo Logikos Partija	3,361	0.24	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Liaudies Partija	2,622	0.19	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Reformų Partija					0	0.00	0	0.00	
Nepartinių Judejimas "Rinkimai-96"					0	0.00	0	0.00	
Nepriklausomybės Partija (NP)					0	0.00	0	0.00	
無所属					4	5.63	4	2.84	
合計	1,306,922		70		71		141		

*4つの小選挙区にて規定投票率に達しなかったため、当該区では1997年3月23日にやり直し選挙（事実上の第3ラウンド）を実施している。そのため、小選挙区における議席数は、1996年度総選挙の選管発表（67議席しか確定していない）とは、ことなる数字となっている。

2000年選挙
(10月8日)

	第1ラウンド 比例区	第1ラウンド 小選挙区
登録有権者	2,626,321	2,626,349
投票数	1,539,743	1,541,802
投票率	58.63	58.71
有効投票数	1,471,247	1,466,214

政党（政党連合）	比例区				小選挙区		合計		
	得票数	得票率	議席数	議席率	議席数	議席率	議席数	議席率	
ABSK	LDDP	457,294	31.08	28	40.00	14	19.72	51	36.17
	LSDP					7	9.86		
	LRS					0	0.00		
	NDP					2	2.82		
NS(SL)	288,895	19.64	18	25.71	11	15.49	29	20.57	
LLS	253,824	17.25	16	22.86	18	25.35	34	24.11	
TS-LK	126,850	8.62	8	11.43	1	1.41	9	6.38	
KDS	61,583	4.19	0	0.00	1	1.41	1	0.71	
LVP	60,040	4.08	0	0.00	4	5.63	4	2.84	
LKDP	45,227	3.07	0	0.00	2	2.82	2	1.42	
LCS	42,030	2.86	0	0.00	2	2.82	2	1.42	
Nuosaičių Konservatorių Sąjunga (NKS)	29,615	2.01	0	0.00	1	1.41	1	0.71	

政党（政党連合）	比例区				小選挙区		合計		
	得票数	得票率	議席数	議席率	議席数	議席率	議席数	議席率	
LLRA	28,641	1.95	0	0.00	2	2.82	2	1.42	
Lietuvos liaudies sąjunga "Už teisingą Lietuvą" (LLSUTL)	21,583	1.47	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Laisvės Sąjunga	18,622	1.27	0	0.00	1	1.41	1	1.42	
"JL"	16,941	1.15	0	0.00	1	1.41	1	1.42	
LTS	Lietuvių Tautininkų Sąjunga (LTS)	12,884	0.88	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	LLL					0	0.00		
Lietuvos Partija "Socialdemokratija 2000"	7,219	0.49	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
MKDS					1	1.41	1	1.42	
TLP					0	0.00	0	0.00	
Respublikonų Partija (RP)					0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Nacionaldemokratų Partija					0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Socialistų Partija (LSP)					0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Demokratų Partija (LtDP)					0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Teisingumo Partija					0	0.00	0	0.00	
LPKTS					0	0.00	0	0.00	
無所属					3	4.23	3	2.12	
合計	1,471,247		70		71		141		

2004年選挙

(第1ラウンド 10月10日
第2ラウンド 10月24日)

	第1ラウンド 比例区	第1ラウンド 小選挙区	第2ラウンド 小選挙区
登録有権者	2,666,196	2,666,199	2,486,750
投票数	1,228,653	1,227,648	1,001,104
投票率	46.08	46.04	40.26
有効投票数	1,195,655	1,160,499	963,032

政党（政党連合）	比例区				小選挙区		合計		
	得票数	得票率	議席数	議席率	議席数	議席率	議席数	議席率	
DP	340,035	28.44	22	31.43	17	23.94	39	27.66	
Koalicija "Už darbą Lietuvai"	LSDP NS(SL)	246,852	20.65	16	22.86	11	15.49	20	14.18
						4	5.63	11	7.80
TS	176,409	14.75	11	15.71	14	19.72	25	17.73	
Koalicija "Už Tvarą ir Teisingumą"	LDP	135,807	11.36	9	12.86	1	1.41	10	7.09
	Lietuvos Liaudies sąjunga "Už Teisingą Lietuvą" (LLSUTL)					0	0.00	0	0.00
LiCS	109,872	9.19	7	10.00	11	15.49	18	12.77	
VNDS	78,902	6.60	5	7.14	5	7.04	10	7.09	
LLRA	45,302	3.79	0	0.00	2	2.82	2	1.42	
Krikščionių Konservatorių Socialinė Sąjunga(KKSS)	23,426	1.96	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
LKD	16,362	1.37	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Nacionalinė Centro Partija (NCP)	5,989	0.50	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Respublikonų partija (RP)	4,326	0.36	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Socialdemokratų Sąjunga (LSDS)	3,977	0.33	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Laisvės Sąjunga	3,337	0.28	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Tautinė Partija "Lietuvos Kelias" (TPLK)	2,577	0.22	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Lietuvių Tautininkų Sąjunga (LTS)	2,482	0.21	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
"JL"					0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Lenkų Liaudies Partija (LLLP)					0	0.00	0	0.00	
LRS					0	0.00	0	0.00	
無所属					6	8.45	6	4.26	
合計	1,195,655		70		71		141		

2008年選挙
(第1ラウンド 10月12日・
第2ラウンド 10月26日)

	第1ラウンド 比例区	第1ラウンド 小選挙区	第2ラウンド 小選挙区
登録有権者	2,696,090	2,696,075	2,581,305
投票数	1,309,965	1,309,767	835,636
投票率	48.59	48.58	32.37
有効投票数	1,236,716	1,228,180	800,043

政党 (政党連合)	比例区				小選挙区		合計		
	得票数	得票率	議席数	議席率	議席数	議席率	議席数	議席率	
TS-LKD	243,823	19.72	18	25.71	27	38.03	45	31.91	
TPP	186,629	15.09	13	18.57	3	4.23	16	11.35	
PTIT(LDP)	156,777	12.68	11	15.71	4	5.63	15	10.64	
LSDP	144,890	11.72	10	14.29	15	21.13	25	17.73	
Koalicija DP+J	DP Leiboristų Partija	111,149	8.99	8	11.43	2	2.82	10	7.09
						0	0.00		
LRLS	70,862	5.73	5	7.14	6	8.45	11	7.80	
LiCS	66,078	5.34	5	7.14	3	4.23	8	5.67	
LLRA	59,237	4.79	0	0.00	3	4.23	3	2.13	
LVLS	46,162	3.73	0	0.00	3	4.23	3	2.13	
NS(SL)	45,061	3.64	0	0.00	1	1.41	1	0.71	
“Fronto” Partija	40,016	3.24	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
“JL”	21,589	1.75	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
PDP	13,775	1.11	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
LRS	11,357	0.92	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Socialdemokratų Sąjunga (LSDS)	10,642	0.86	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Centro Partija (LCP)	8,669	0.70	0	0.00	0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Laisvės Sąjunga					0	0.00	0	0.00	
Lietuvos Liaudies Sąjunga “Už Teisingą Lietuvą” (LLSUTL)					0	0.00	0	0.00	
無所属					4	5.63	4	2.84	
合計	1,236,718		70		71		141		

リトアニア大統領選挙結果

1993年選挙

●第1回投票(1993年2月14日)

登録有権者	2,568,026
投票数	2,019,015
投票率	78.6
有効投票数	1,984,997

候補者名	有効投票数	得票率	備考
Algirdas Brazauskas	1,212,075	61.06	LDDP 所属
Stasys Lozoraitis	772,922	38.94	無所属 Sajūdžio Koalicija, LKDP, LSDP による支援
合計	1,984,997		

※第1回投票で Brazauskas が過半数得票を獲得したため、当選が確定

1997年選挙

●第1回投票(1997年12月21日)

登録有権者	2,624,312
投票数	1,875,148
投票率	71.45
有効投票数	1,852,468

候補者名	有効投票数	得票率	備考
Artūras Paulauskas	838,819	42.58	無所属 リトアニア初代検事総長
Valdas Adamkus	516,798	27.90	無所属 亡命リトアニア人 米国官僚

1997年選挙
前ページからの続き

候補者名	有効投票数	得票率	備考
Vytautas Landsbergis	294,881	15.92	TS-LK 所属
Vytenis Povilas Andriukaitis	105,916	5.71	LSDP 所属
Kazys Bobelis	73,287	3.96	LKDP 所属
Rolandas Pavilionis	16,070	0.87	無所属 哲学者 ビリニュス大学長
Rimantas Smetona	6,697	0.36	LTS 所属
合計	1,852,468		

●第2回投票(1998年1月4日)

登録有権者	2,630,681
投票数	1,937,786
投票率	73.66
有効投票数	1,921,806

候補者名	有効投票数	得票率
Valdas Adamkus	968,031	50.37
Artūras Paulauskas	953,775	49.63
合計	1,291,806	

2002年選挙

●第1回投票(2002年12月22日)

登録有権者	2,719,608
投票数	1,466,536
投票率	53.92
有効投票数	1,447,117

候補者名	有効投票数	得票率	備考
Valdas Adamkus	514,154	35.53	無所属 (現職)
Rolandas Paksas	284,559	19.66	LDP 所属 元ビリニュス市長・元首相
Artūras Paulauskas	120,238	8.31	NS(SL) 所属
Vytautas Šerėnas	112,215	7.75	無所属 経済学者 TV コメントーター
Vytenis Povilas Andriukaitis	105,584	7.3	LSDP 所属
Kazimira Danutė Prunskienė	72,925	5.04	VNDS 所属
Juozas Edvardas Petraitis	54,139	3.74	無所属 企業家
Eugenijus Gentvilas	44,562	3.08	LLS 所属
Julius Veselka	32,293	2.23	無所属 経済学者
Algimantas Matulevičius	32,137	2.22	無所属 経済学者
Kazys Bobelis	27,613	1.91	LKD 所属
Vytautas Antanas Matulevičius	26,888	1.86	無所属 ジャーナリスト
Kęstutis Glaveckas	7,554	0.52	LCS 所属 経済学者
Vytautas Šustauskas	5,372	0.37	Lietuvos Laisvės Sąjunga 所属 元カウナス市長
Vytautas Bernatoniš	3,546	0.25	Lietuvos Gyvenimo Logikos Partija 所属 企業家
Algirdas Pilvelis	2,074	0.14	無所属 ジャーナリスト
Rimantas Jonas Dagys	1,264	0.09	Socialdemokratija 2000 所属
合計	1,447,117		

●第2回投票(2003年1月5日)

登録有権者	2,727,805
投票数	1,436,322
投票率	52.65
有効投票数	1,421,639

候補者名	有効投票数	得票率
Rolandas Paksas	777,769	54.71
Valdas Adamkus	643,870	45.29
合計	1,421,639	

2004年選挙

●第1回投票(2004年6月13日)

登録有権者	2,655,309
投票数	1,285,067
投票率	48.40
有効投票数	1,245,360

候補者名	有効投票数	得票率	備考
Valdas Adamkus	387,837	31.14	無所属
Kazimira Danutė Prunskienė	264,681	21.25	VNDS 所属
Petras Auštrevičius	240,413	19.30	元外務官僚 TS-LK、DP の支援
Vilija Blinkevičiūtė	204,819	16.45	NS(SL) 所属
Česlovas Juršėnas	147,610	11.85	LSDP 所属
合計	1,245,360		

●第2回投票(2004年6月27日)

登録有権者	2,659,211
投票数	1,395,103
投票率	52.46
有効投票数	1,374,915

候補者名	有効投票数	得票率
Valdas Adamkus	723,891	52.65
Kazimira Danutė Prunskienė	651,024	47.35
合計	1,374,915	

2009年選挙

●第1回投票(2009年5月17日)

登録有権者	2,691,603
投票数	1,393,278
投票率	51.76
有効投票数	1,375,638

候補者名	有効投票数	得票率	備考
Dalia Grybauskaitė	950,407	69.09	無所属 欧州委員 TS-LKD の支援
Algirdas Butkevičius	162,665	11.82	LSDP 所属
Valentinas Mazuronis	84,656	6.15	PTiT 所属
Valdemar Tomaševski	65,255	4.74	LLRA 所属
Kazimira Danutė Prunskienė	53,778	3.91	LVLS 所属
Loreta Graužinienė	49,686	3.61	DP 所属
Česlovas Ježerskas	9,191	0.67	無所属 軍将校
合計	1,375,638	100.00	

※第1回投票で Grybauskaitė が過半数得票を獲得したため、当選が確定

リトアニア欧州議会選挙結果

2004年選挙
(6月13日)

登録有権者	2,654,311
投票数	1,284,050
投票率	48.38
有効投票数	1,207,070

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
DP	363,996	30.16	5	38.46
LSDP	174,124	14.43	2	15.38
TS	151,833	12.58	2	15.38
LiCS	135,601	11.23	2	15.38
VNDS	89,452	7.41	1	7.69
LDP	82,420	6.83	1	7.69
LLRA/LRS	68,937	5.71	0	0.00
NS(SL)	58,527	4.85	0	0.00
LKD	33,162	2.75	0	0.00
Krikščionių Konservatorių Socialinė Sąjunga(KKSS)	31,061	2.57	0	0.00
Tautos Pazangos Partija	14,294	1.18	0	0.00
Nacionalinė centro partija (NCP)	3,663	0.30	0	0.00
合計	1,207,070	100.00	13	100.00

2009年選挙
(6月7日)

登録有権者	2,692,397
投票数	564,803
投票率	20.98
有効投票数	550,124

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
TS-LKD	146,933	26.80	4	33.33
LSDP	102,104	18.62	3	25.00
PTIT(LDP)	67,104	12.24	2	16.66
DP	48,283	8.81	1	8.33
LLRA/LRS	46,361	8.46	1	8.33
LRLS	40,285	7.35	1	8.33
LiCS	18,986	3.46	0	0.00
Lietuvos Centro Partija (LCP)	16,950	3.09	0	0.00
Krikščionių Konservatorių Socialinė Sąjunga (KKSS)	16,084	2.93	0	0.00
"Fronto" Partija	13,331	2.43	0	0.00
LVLS	10,281	1.88	0	0.00
PDP	7,383	1.35	0	0.00
Žemaičių Partija	6,935	1.26	0	0.00
TPP	5,694	1.04	0	0.00
Tautinė Partija "Lietuvos Kelias" (TPLK)	1,558	0.28	0	0.00
合計	1,207,070	100.00	12	100.00

データの出典

議会(セイマス)選挙(中央選挙管理委員会HP)

http://www2.sx.ac.uk/elect/electer/lt_er_nl.htm

<http://www.abdn.ac.uk/cspp/litelec.shtml>

<http://www.lrs.lt/rinkimai/seim96/index.html>

<http://www3.lrs.lt/n/rinkimai/seimpk/index.html#1997>

<http://www3.lrs.lt/n/rinkimai/20001008/index.html>

<http://www3.lrs.lt/rinkimai/2004/seimas/index.html>

<http://www.vrk.lt/lt/pirmas-puslapis/ankstesni-rinkimai/2008-seimo-rinkimai/>

欧州議会選挙(統計局のHP)

<http://www3.lrs.lt/rinkimai/2004/euro/index.html>

<http://www.vrk.lt/lt/pirmas-puslapis/ankstesni-rinkimai/2009-europarlamento-rinkimai/>

大統領選挙

Krickus, Richard J. "Democratization in Lithuania," in Dawisha, Karen and Bruce Parrott (eds.) *The Consolidation of Democracy in East-Central Europe*, 1997, 290-333.

<http://www.lrs.lt/rinkimai/pr97/>

<http://www3.lrs.lt/rinkimai/2002/Prezidentas/>

<http://www3.lrs.lt/rinkimai/2004/prezidentas/index.html>

<http://www.vrk.lt/lt/pirmas-puslapis/ankstesni-rinkimai/2009-prezidento-rinkimai/>

政党概要(他に本文記載の各党ホームページ)

<http://www.lrs.lt>

Bugajski, Dovile, *Political Parties of Eastern Europe: A Guide to Politics in the Post-Communist Era*, M.E. Sharpe, 2002.

Duvold, Kjetil and Mindaugas Jurkynas, "Lithuania," in Sten Belglund, Joakim Ekman and Frank H. Aarebrot (eds.) *The Handbook of Political Change in Eastern Europe*, 2nd edition, Edward Elgar, 2004, 133-179.

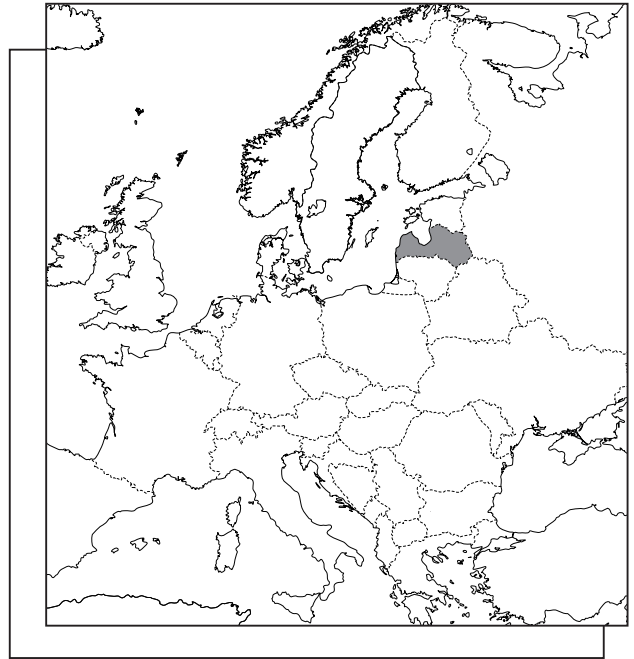
Fitzmaurice, John, "Parliamentary elections in Lithuania, October 2000," *Electoral Studies*, vol.22, no.1, 2003, 161-165.

Jurkynas, Mindaugas, "The 2004 presidential and Parliamentary Elections in Lithuania," *Electoral Studies*, vol.24, 2005, 741-784.

Jurkynas, Mindaugas, "The Parliamentary Election in Lithuania, October 2008," *Electoral Studies*, vol.28, 2009, 329-333.

Novagrockienė, Juratė, "The Development and Consolidation of the Lithuanian Political Party System," *Journal of Baltic Studies*, vol.32, no.2, 2001, 141-155.

Ramonaitė, Ainė, "The Development of the Lithuanian Party System: From Stability to Perturbation," in Susanne Jungerstam-Mulders (eds.) *Post-Communist EU Member States: Parties and Party System*, Ashgate, 2006, 69-90.



ラトヴィア政党・選挙データ

1. 政治制度と選挙制度

- 1-1 議会制度と議会選挙
- 1-2 大統領選挙と大統領・議会関係

2. 主要政党の概要

- 2-1 LZP ラトヴィア緑の党
- 2-2 LZS ラトヴィア農民連合
- 2-3 ZZS 緑と農民の連合
- 2-4 TSP 人民調和党
- 2-5 TB/LNNK 「祖国と自由のために」/
ラトヴィア民族独立運動
- 2-6 KDS キリスト教民主連合
- 2-7 TP 人民党
- 2-8 LSP ラトヴィア社会党
- 2-9 LSDSP ラトヴィア社会民主労働者党
- 2-10 JL 新時代
- 2-11 SC 政党連合調和センター
- 2-12 PCTVL 統合されたラトヴィアの人権のために
- 2-13 LPP ラトヴィア第一党
- 2-14 LC ラトヴィアの道
- 2-15 PS 市民連合
- 2-16 SCP もう一つの政治のための協会

3. 1993年選挙後の歴代内閣

4. 資料

1 政治制度と選挙制度

1-1 議会制度と議会選挙

議会制度のあらまし

ラトヴィアの議会(Saeima)は、定数100の一院制である。任期は4年で、国会議員の過半数により内閣ないし首相への不信任案が提出された場合、内閣の提案により議会は解散される。議会選挙への選挙権は18歳以上、被選挙権は21歳以上の国民に付与される。両大戦間期から議会は継続していると思われているため、ソ連邦からの独立回復後最初に選ばれた議会在、第5国会とされる。

選挙制度

ラトヴィアの選挙制度は、1993年の選挙については1993年選挙法、1995年以降の選挙については1995年選挙法によって定められている(1995年選挙法により議席獲得のための得票率を4%から5%に引き上げた)。選挙は、5選挙区(リーガ市と4つの歴史的地域: ヴィゼメ、ラトガレ、クルゼメ、ゼムガレ)ごとに、拘束名簿式比例代表制で行われる。有権者は政党および政党連合に投票する。個別の候補者に対する好悪については、投票用紙に+-の印をつけて意思表示できる。選挙区の定数は14-29。議席配分はサンラゲ方式で行われる。ラトヴィアの特徴として、立候補は複数の選挙区で可能であること、投票は5つの選挙区のうちいずれでも可能であることが挙げられる。また、ソ連邦あるいはラトヴィア社会主義共和国、ないし外国の情報機関および諜報機関の職員であった者、1991年1月13日以降もラトヴィア共産党で活動を継続していた者には被選挙権は認められない。

1-2 大統領選挙と大統領・議会関係

大統領の選出方法は、憲法により規定されている。大統領は国会議員の間接選挙により選出される(任期4年、3選禁止)。選出には国会議員51人以上の得票が必要である(被選挙権は40歳以上。二重国籍者不可)。

大統領の権限は主として外交および軍事に関する側面を中心とするが(憲法41-44条)、議会との関係では大統領は首相候補者を指名し、同首相候補者が組織した内閣が国会の承認を受けた場合に首相および閣僚の任命を行う。国会の解散権を有するが、解散を発議した場合、これを国民投票により承認される必要がある。もし国民投票で解散が否決された場合には、大統領は辞職しなければならない。法案については、大統領は法案発議権を有する。また、国会が採択した法案について、これを国会に再送付する権利を有し(いわゆる拒否権)、国会が修正をしない形で再度法案を採択した場合には、最高裁判所にその合憲性の審議を求めることができる。

2 主要政党の概要

2-1 LZP (Latvijas Zaļā partija): ラトヴィアの緑の党 [〈http://www.zp.lv〉](http://www.zp.lv)

環境保護クラブを基にする政党。1989年9月にイニシアチブグループが会合を開き、1990年1月13日に政党を設立。1993年選挙では「緑のリスト」を作成し、選挙に臨んだが、得票率1.2%で議席獲得はならなかった。続く1995年選挙では、LNNKとのリストで臨み、4議席を獲得した。2002年選挙からは政党選挙連合「緑と農民の連合」を結成、同選挙で3議席(連合全体では12議席)を獲得した。党首のI. Emsisは2004年3月9日から12月2日まで首相を務めた。

1998、99年にリトアニアのプーティンゲ石油ターミナル建設反対の抗議行動を組織するなど、議会外の活動も行っている。

2-2 LZS (Latvijas Zemnieku savienība): ラトヴィア農民連合 [〈http://www.lzs.lv/〉](http://www.lzs.lv/)

農民の利益を代表する政党。1990年、第二次世界大戦前の承継政党であることを宣言。ペレストロイカ期には人民戦線の地方委員会として活動した。1991年2月の復活総会を経て、正式に政党として登録。戦前の大統領であり農民党党首であったカールリス・ウルマニスが大叔父とするグンティス・ウルマニスに党首に選出されたことに加え、旧党員も加わったことが戦前の党との継承性を担保している。

1993年の第5国会選挙では12議席を獲得して、「ラトヴィアの道」とともに政権を担った(～1994年)。また、グンティス・ウルマニスは独立回復後最初の大統領に選出され、2期(8年)を務めた(大統領選出後、名誉党員に)。

1995年選挙以降、勢力を弱め、1998年の選挙では議席を獲得できなかった。同年、Aigars KalvītisやRihards Pīksら、有力政治家が人民党の新党結成の動きに合流した。2002年の選挙では、LZPと選挙連合を形成し、12議席を獲得した。

2002年以降、中道政党ラトヴィア農民連合Centriskā partija Latvijas Zemnieku savienībaを名乗り、農民以外の利益も広く代表することをアピール。民族政策では、ラトヴィア人の民族的利益を重視している。

2-3 ZZS (Zaļo un Zemnieku savienība): 緑と農民の連合

LZPとLZSの政党選挙連合。ラトヴィア語を唯一の国語としラトヴィア文化が支配的な国家としてのラトヴィアの実現を目的とする。

2002年選挙で12議席を獲得。うち7議席がLZS、3議席がLZP、残りの2議席はいずれの政党にも所属していない(V. Krištopans、A. Bērziņš)。

2-4**TSP (Tautas saskaņas partija):**
人民調和党

1994年2月5日設立。国籍法の緩和を掲げ、主たる支持母体としてロシア語系住民が圧倒的であるため、ロシア語系住民政党に位置づけられる。1998年選挙の前に、他のいわゆるロシア語系住民政党とともに、PCTVLの結成を決定(ただし、1998年選挙には、登録が間に合わなかったため、人民調和党リストで臨む)。しかし、2006年選挙では、同連合を離脱し、政党連合調和センターを結成した。その理由として、TSPがロシア語系住民の利益のみを代表するのではなく、ラトヴィア国家としての立場にも配慮することが主張された。社会経済政策では左派に位置づけられる。地方議会選挙における外国人(当該選挙区に5年以上居住する恒常的住民)への選挙権付与を支持。

2-5**TB/LNNK (Apvienība "Tēvzemei un Brīvībai"/LNNK):**

「祖国と自由のために」/ラトヴィア民族独立運動 〈<http://www.tb.lv/>〉

民族主義的右派政党。自分の国で少数派に転じることを懸念し、主権国家としてのラトヴィアの回復を目的として、LNNK(ラトヴィア民族独立運動)は大衆運動として1988年に活動開始。1988年9月にはラトヴィアの独立を明確な目標として掲げる。1989年5月、第二次世界大戦前の国民及びその子孫のみを国民とみなす国民委員会の結成を宣言。1992年3月、人民戦線との協力を解消。正式な政党への転身は1993年7月。同年の選挙で15議席を獲得し、第二党となった。1995年選挙では、緑の党と統一リストで臨み、選挙後に成立したシュチャーレ内閣に参加した。

1997年、かつて同党から分離した「祖国と自由のために」と再合併。

2-6**KDS (Kristīgi demokrātiskā savienība):**

キリスト教民主連合 〈<http://www.kds.lv/>〉

1991年3月9日に政党化することを決議。1995年選挙に、LZSおよびラトガレではラトガレ民主党と統一リストで臨み、KDSからは4人が当選した。

2-7**TP (Tautas Partija):**

人民党 〈<http://www.tautaspartija.lv/>〉

1995年から1997年まで首相を務めた無党派の企業家A. Šķēleを中心に1998年に設立。保守派。家族政策を重視。設立後はじめて望んだ1998年の選挙で24議席を獲得し、第一党となるが、当初は野党にとどまった。1999年7月のクリシュトパンス内閣の辞職後、LCおよびTB/LNNKとともに政権を担った。

2-8**LSP (Latvijas Sociālistiskā partija):**

ラトヴィア社会党

共産党強硬派のA. Rubiksを党首とする共産党の後継政党。ルビクスは、1991年1月13日以降も共産党での活動を継続していたため、ラトヴィアの法律に基づき、国政・地方選挙に

立候補することはできない。ロシア語系住民を支持母体とし、PCTVLの一翼を担ったが、その後、人民調和党とともに離脱。

2-9 LSDSP (Latvijas Sociāldemokrātiskā strādnieku partija):
ラトヴィア社会民主労働者党 〈<http://www.lsdsp.lv/>〉

両大戦間期からの政党としての継承を主張する。ソ連時代にはスウェーデンに活動の場を移していた。1989年、ラトヴィアにて活動を再開。しかしながら93年の選挙での得票率は0.66%であった。選挙での失敗の理由の一つとして、類似の政治的主張を掲げるLDDP(ラトヴィア共産党改革派)の存在があった。1998年選挙では、両党が連合を形成し(1997)、14議席を獲得したが、2002年選挙では議席獲得はならなかった。

2-10 JL (Jaunais laiks):
新時代 〈<http://www.jaunaislaiks.lv/>〉

中央銀行総裁E. Repšeを党首として、2002年に設立。設立直後の2002年選挙で26議席を獲得し、第一党となり、政権を担った。既存政党との違いとして政治の専門性と新規参入による政治腐敗との決別を強調。経済政策では自由主義右派。

2-11 SC (Politisko partiju apvienība “Saskaņas Centrs”):
政党連合調和センター 〈<http://www.saskanascentrs.lv/lv/parties/>〉

2005年、人民調和党ならびにLSPを中心として結成。2009年現在は5党からなる政党連合。左派。

2-12 PCTVL (Par cilvēka tiesībām vienotā Latvijā):
統合されたラトヴィアの人権のために

人権、民主主義的民族政策、社会正義を掲げる。人民調和党、ラトヴィア社会党、平等の権利によって結成され、一定の支持を獲得したが、前二者が、ロシア語系住民のみの利益を代表することはラトヴィア国家のためにならないとして離脱。

2-13 LPP (Latvijas Pirmā Partija):
ラトヴィア第一党 〈<http://www.lpplc.lv/>〉

2002年、KDSと新キリスト教党(2001年に新党を改編)から結成。実業家A. Šlesersを中心とする政党。レンベルグスやシュチュエーレといったラトヴィアのオリガルヒの政治への影響力をそぐことをミッションとすると表明。2003年の党綱領で、社会統合と国籍非保有者の帰化の促進を掲げる。

2-14**LC (Latvijas ceļš):****ラトヴィアの道** 〈<http://www.lpplc.lv/>〉

独立回復後に、亡命ラトヴィア人から旧共産党改革派まで多様な勢力を結集して設立。1993年選挙で36議席を獲得して第一党となり、国家建設過程、とりわけEU加盟に向けての改革で主導的役割を果たした。続く、第6、第7国会でも支持を減らしつつも議席を獲得したが、2002年の選挙では得票率が5%を下回り、議席獲得はならなかった。2006年選挙でLPPと選挙連合を形成し、国会に返り咲いた。

2-15**PS (Pilsoniskā savienība):****市民連合** 〈<http://www.pilsoniska-savieniba.lv/>〉

元外相のS. Kalnieteを中心に、JLならびにTB/LNNKを離党した議員により、2008年に結成。民族主義的。

2-16**SCP (Sabiedrība citai politikai):****もう一つの政治のための協会** 〈<http://www.scp.lv/>〉

元外相のA. Pabriksを中心に、2008年に結成。独立回復後のウルトラ・リベラルな経済政策に対し、社会リベラリズムの立場から修正を求める。

3 1993年選挙後の歴代内閣

1993年8月3日～1994年9月15日

- ビルカフス Valdis Birkavs内閣(LC、LZS)

1994年12月15日～1995年12月21日

- ガイリス Māris Gailis内閣(LC、TPA(国民経済政治同盟))

1995年12月21日～1997年2月13日

- シュチャーレ Andris Šķēle内閣
(DPS、TB、LNNK、LC、LZS、LZP、LVP(ラトヴィア統一党))

1997年2月13日～1997年8月7日

- シュチャーレ Andris Šķēle内閣(DPS、TB、LNNK、LC、LZS)

1997年8月7日～1998年11月26日

- クラスツ Guntars Krasts内閣(TB/LNNK、LC、DPS、LZS、KTP(キリスト教人民党))

1998年11月26日～1999年7月16日

- クリシュトパーンズ Vilis Krištopāns内閣(LC、TB/LNNK、LSDA、JP(新党))

1999年7月16日～2000年5月5日

- シュチエーレ Andris Šķēle内閣(TP、LC、TB/LNNK)

2000年5月5日～2002年11月7日

- ベールジンシュ Andris Bērziņš内閣(TP、LC、TB/LNNK、JP)

2002年11月7日～2004年3月9日

- レプシェ Einars Repše内閣(JL(政党「新時代」)、LZS、LPP(ラトヴィア第一党)、LZP、TB/LNNK)

2004年3月9日～2004年12月2日

- エムシス Indulis Emsis内閣(TP、LPP、LZS、LZP、JL)

2004年12月2日～2006年11月7日

- カルヴィーティス Aigars Kalvītis内閣(TP、LPP、LZS、LZP、JL、LC)

2006年11月7日～2007年12月20日

- カルヴィーティス Aigars Kalvītis内閣(TP、LPP、LZS、LZP、JL、LC)

2007年12月20日～2009年3月12日

- ゴドマニス Ivars Godmanis内閣(TP、LPP/LC、LZS、LZP)

2009年3月12日～

- ドンブロフスキス Valdis Dombrovskis内閣(JL、TP、ZZS、TB/LNNK、市民連合)

4 資料

ラトヴィア国会議会議選挙結果

1993年選挙
(6月5日、6日)

登録有権者	1,243,956
投票数	89.90
有効投票数	458,266

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
Savienība "Latvijas Ceļš"	362,473	32.41	36	36.0
Latvijas Nacionālā Neatkarības Kustība	149,347	13.35	15	15.0
Saskaņa Latvijai, - Atdzimšana Tautsaimniecībai	134,289	12.01	13	13.0
Latvijas Zemnieku Savienība	119,116	10.65	12	12.0
Līdztiesībaī	64,444	5.76	7	7.0
Vēlēšanu Apvienība "Tēvzemei un Brīvībai"	59,855	5.35	6	6.0
Latvijas Kristīgo Demokrātu Savienība	56,057	5.01	6	6.0
Demokrātiskā Centra Partija	53,303	4.77	5	5.0
Pretkomunistu Apvienība	5,954	0.53	0	0.0
Zaļais Saraksts	13,362	1.19	0	0.0
Latvijas Demokrātiskā Darba Partija (LDDP)	10,509	0.94	0	0.0

1993 年選挙
(6月5日、6日)
※前ページからの続き

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
Latvijas Tautas Fronte	29,396	2.63	0	0.0
Republikas Platforma	5,075	0.45	0	0.0
Konservatīvie un Zemnieki	2,797	0.25	0	0.0
Latvijas Sociāldemokrātiskā Strādnieku Partija	7,416	0.66	0	0.0
Neatkarīgo Savienība	1,968	0.18	0	0.0
Latvijas Liberālā partija	1,520	0.14	0	0.0
Krievu Nacionālais Demokrātiskais saraksts (Demokrātiskās iniciatīvas centrs - Baltijas konstitucionālā partija)	13,006	1.16	0	0.0
Saimnieciskās Rosības Līga	8,333	0.75	0	0.0
Pilsoņu kopa "Mūsu Zeme"	8,687	0.78	0	0.0
Vēlēšanu apvienība "Latvijas Laime"	9,814	0.88	0	0.0
Liberālā Alianse	525	0.05	0	0.0
Latvijas Vienības Partija	1,070	0.10	0	0.0
合計	1,118,316		100	

1995 年選挙
(9月30日、10月1日)

登録有権者	1,328,779
投票率	72.65
有効投票数	965,339

政党 (政党連合)	得票数	得票率	議席数	議席率
Demokrātiskā partija Saimnieks	144,758	15.15	18	18.0
Savienība "Latvijas ceļš"	139,929	14.65	17	17.0
Tautas kustība Latvijai (Zīģerista partija)	142,324	14.90	16	16.0
Apvienība "Tēvzemei un Brīvībai"	114,050	11.94	14	14.0
Latvijas Zemnieku savienības, Latvijas Kristīgo demokrātu savienības un Latgalē/Latgales Demokrātiskās partijas apvienotais saraksts	60,498	6.33	8	8.0
Latvijas Nacionāli konservatīvā partija - LNNK un Latvijas Zaļā partija	60,352	6.32	8	8.0
Latvijas Vienības partija	68,305	7.15	8	8.0
Tautas saskaņas partija	53,041	5.55	6	6.0
Latvijas Sociālistiskā partija	53,325	5.58	5	5.0
Latvijas Liberālā partija	2,163	0.23	0	0.0
Maznodrošināto politiskā apvienība un Latviešu neatkarības partija	9,468	0.99	0	0.0
Latvijas Demokrātiskās darba partijas (LDDP), Latvijas Sociāldemokrātiskās strādnieku partijas (LSDSP) un Latvijas Apkrāpto cilvēku aizstāvības partijas "Taisnība"(Taisnība) koalīcija "Darbs un Taisnīgums"	43,599	4.56	0	0.0
Latviešu Zemnieku Savienība	13,009	1.36	0	0.0
Latvijas Krievu pilsoņu partija (LKPP)	11,924	1.25	0	0.0
Latvijas Nacionāli Demokrātiskā partija	1,367	0.14	0	0.0
Partijas "Mūsu zeme" un "Pretkomunistu apvienība"	5,050	0.53	0	0.0
Latvijas Tautas fronte	11,090	1.16	0	0.0
Tautsaimnieku politiskā apvienība "Tautsaimnieks"	14,209	1.49	0	0.0
Demokrātu partija	2,546	0.27	0	0.0
合計	951,007		100	

1998年選挙
(10月3日)

登録有権者	1,313,739
投票率	72.5
有効投票数	952,945

政党（政党連合）	得票数	議席数	得票率	議席率
Tautas partija	203,585	24	21.81	24.0
Savienība "Latvijas ceļš"	173,420	21	18.05	21.0
Apvienība "Tēvzemei un Brīvībai"/LNNK	140,773	17	14.66	17.0
Tautas saskaņas partija	135,700	16	14.12	16.0
Latvijas Sociāldemokrātu apvienība	123,056	14	12.81	14.0
Jaunā partija	70,214	8	7.31	8.0
Latvijas Zemnieku savienība	23,732	0	2.47	0.0
Darba partijas, Kristīgi demokrātiskās savienības, Latvijas Zaļās partijas apvienība	22,018	0	2.29	0.0
Tautas kustība Latvijai (Zīgerista partija)	16,647	0	1.73	0.0
Demokrātiskā partija "Saimnieks"	15,410	0	1.6	0.0
Latvijas Atdzimšanas partija	5,000	0	0.52	0.0
Nacionālā progresa partija	4,522	0	0.47	0.0
Latvijas Vienības partija	4,445	0	0.46	0.0
Sociāldemokrātiskā sieviešu organizācija	3,133	0	0.33	0.0
Tautas kopa "Brīvība"	3,099	0	0.32	0.0
Latvijas Nacionāli demokrātiskā partija	2,927	0	0.3	0.0
Konservatīvā partija	2,318	0	0.24	0.0
Māras zeme	2,238	0	0.23	0.0
Helsinki - 86	2,088	0	0.22	0.0
Demokrātu partija	792	0	0.08	0.0
Latvijas Nacionālā reformu partija	464	0	0.05	0.0
合計	955,581		100	

2002年選挙
(10月5日)

登録有権者	1,398,156
投票数	997,754
投票率	71.51
有効投票数	995,085

政党（政党連合）	得票数	議席数	得票率	議席率
Jaunais laiks	237,452	26	23.9	26.0
Politisko organizāciju apvienība "Par cilvēka tiesībām vienotā Latvijā"	189,088	25	19	25.0
Tautas partija	165,246	20	16.6	20.0
Latvijas Pirmā Partija	94,752	10	9.5	10.0
Zaļo un Zemnieku savienība	93,759	12	9.4	12.0
Apvienība "Tēvzemei un Brīvībai"/LNNK	53,396	7	5.4	7.0
Savienība "Latvijas ceļš"	48,430	0	4.9	0.0
Latvijas Sociāldemokrātiskā strādnieku partija	39,837	0	4	0.0
Latgales Gaisma	15,948	0	1.6	0.0
Sociāldemokrātu savienība - SDS	15,162	0	1.5	0.0
Sociāldemokrātiskā Labklājības partija	13,234	0	1.3	0.0
Politiskā apvienība "Centrs"	5,819	0	0.6	0.0
Krievu partija	4,724	0	0.5	0.0
Latviešu partija	3,919	0	0.4	0.0
Latvijas Atdzimšanas partija	2,558	0	0.3	0.0
Brīvības partija	2,075	0	0.2	0.0
Māras zeme	1,446	0	0.2	0.0
Partija "Mūsu zeme"	1,349	0	0.1	0.0
Progresīvā CENTRISKĀ partija	1,229	0	0.1	0.0
Latvijas Apvienotā Republikāņu partija	826	0	0.1	0.0
合計	990,249		100	

2006年選挙
(10月7日)

登録有権者	1,490,636
投票数	908,979
投票率	60.98
有効投票数	907,460

政党 (政党連合)	得票数	議席数	得票率	議席率
Tautas partija	177,481	23	19.56	23.0
Zaļo un Zemnieku savienība	151,595	18	16.71	18.0
Jaunais laiks	148,602	18	16.38	18.0
Saskaņas Centrs	130,887	17	14.42	17.0
Latvijas Pirmās partijas un partijas "Latvijas Ceļš" vēlēšanu apvienība	77,869	10	8.58	10.0
Apvienība "Tēvzemei un Brīvībai"/LNNK	62,989	8	6.94	8.0
Politisko organizāciju apvienība "Par cilvēka tiesībām vienotā Latvijā"	54,684	6	6.03	6.0
Latvijas Sociāldemokrātiskā Strādnieku partija	31,728	0	3.5	0.0
Politiskā patriotiskā apvienība "DZIMTENE"	18,860	0	2.08	0.0
Partija "Visu Latvijai!"	13,469	0	1.48	0.0
Jaunie Demokrāti	11,505	0	1.27	0.0
Politiskā organizācija "PENSIONĀRU UN SENIORU PARTIJA"	7,175	0	0.79	0.0
MĀRAS ZEME	4,400	0	0.48	0.0
Politiskā organizācija (partija) "Eiroskeptiķi"	3,365	0	0.37	0.0
Partija "Mūsu zeme"	2,065	0	0.23	0.0
Sociālā Taisnīguma partija	1,575	0	0.17	0.0
Nacionālā Spēka Savienība	1,172	0	0.13	0.0
LATVIEŠU LATVIJA nacionālpolitiska Latviešu Aizstāvības Organizācija	1,130	0	0.12	0.0
Partija "Tēvzemes savienība"	1,114	0	0.12	0.0
合計	901,665		100	

ラトヴィア欧州議会選挙結果

2004年選挙
(6月12日)

登録有権者	1,397,736
投票者数	577,879
投票率	41.34
有効投票数	571,364

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
Apvienība Tēvzemei un Brīvībai/LNNK	171,859	29.82	4	44.44
Jaunais laiks	113,593	19.71	2	22.22
Politisko organizāciju apvienība Par cilvēka tiesībām vienotā Latvijā	61,401	10.66	1	11.11
Tautas partija	38,324	6.65	1	11.11
Savienība Latvijas ceļš	37,724	6.55	1	11.11
Tautas saskaņas partija	27,506	4.77		
Latvijas Sociāldemokrātiskā strādnieku partija	27,468	4.77		
Zaļo un Zemnieku savienība	24,467	4.25		
Latvijas Pirmā Partija	18,685	3.24		
Apvienotā sociāldemokrātiskā labklājības partija	12,871	2.23		
Konserbatīvā partija	9,716	1.69		
Latvijas Sociālistiskā partija	9,480	1.65		
Latgales Gaisma	8,439	1.46		
Politisāk organizācija Euroskeptiķi	5,481	0.95		
Kristīgi demokrātiskā savienība	2,362	0.41		
Sociāldemokrātu savienība	1,988	0.34		
合計	571,364		9	

2009年選挙
(6月6日)

登録有権者	1,490,923
投票者数	797,219
投票率	53.7
有効投票数	79,597

政党	得票数	得票率	議席数	議席率
Pilsoniskā savienība	192,537	24.32	2	25.00
Politisko partiju apvienība Saskaņas Centrs	154,894	19.57	2	25.00
Politisko organizāciju apvienība Par cilvēka tiesībām vienotā Latvijā	76,436	9.66	1	12.50
Partija LPP/LC	59,326	7.49	1	12.50
Apvienība Tēvzemei un Brīvībai/LNNK	58,991	7.45	1	12.50
Jaunais laiks	52,751	6.66	1	12.50
Politisko partiju apvienība Libertas.lv	34,073	4.3	0	
Saviedrība citai politikai	30,444	3.85	0	
Latvijas Sociāldemokrātiskā strādnieku partija	30,004	3.79	0	
Zaļo un Zemnieku savienība	29,463	3.73	0	
Partija Visu Latvijai!	22,240	2.81	0	
Tautas partija	21,968	2.78	0	
Par Dzimteni!	4,409	0.56	0	
Rīcības partija	3,373	0.43	0	
Kristīgi demokrātiskā savienība	2,361	0.3	0	
Osipova partija	2,102	0.27	0	
Latvijas Atdzimšanas partija	1,712	0.22	0	
合計	777,084		8	

データの出典

政党概要

参考文献：Imants Mednis, *Partiju laiki Latvijā* (1988-2002), 2007.

選挙結果

<http://web.cvk.lv/pub/public/27093.html>

CIAS Discussion Paper No.12

ポスト社会主義諸国 政党・選挙ハンドブックⅡ

発行 2009年11月

編集 ポスト社会主義諸国の政党・選挙データベース作成研究会

発行者 京都大学地域研究統合情報センター
京都市左京区吉田下阿達町46 〒606-8501
電話: 075-753-9603
FAX: 075-753-9602
E-mail: ciasjimu@cias.kyoto-u.ac.jp
<http://www.cias.kyoto-u.ac.jp>